令和２年度
第２次国分寺市
教育ビジョンに基づく
主要施策の点検及び評価

国分寺市イメージキャラクター　ぶんじほたるホッチ

国分寺市教育委員会

令和3年 10 月 21 日

目次

概要について……1

点検・評価制度の概要……2

国分寺市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱……3

国分寺市教育委員会の教育目標及び第２次国分寺市教育ビジョン……4

教育委員会の活動について……8

組織について……9

教育委員会（定例会・臨時会）及び総合教育会議……11

教育委員会委員　活動内容……20

教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について……22

第２次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価の担当表……23

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

１　豊かな心を育みます

取組の柱１　人権教育の推進……24

取組の柱２　道徳教育の推進……25

取組の柱３　いじめ・虐待防止等に関する取組の推進……26

２　確かな学力を伸ばします

取組の柱１　新しい時代に必要となる資質・能力の育成……27

取組の柱２　持続可能な社会の創り手を育む教育の推進……29

３　健やかな体を育てます

取組の柱１　豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実……30

取組の柱２　健康・安全に生活する力の育成……31

４　一人ひとりの個性を伸ばします

取組の柱１　特別支援教育体制の充実……32

取組の柱２　特別支援教育の理解推進……33

取組の柱３　教育相談体制の強化……34

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

１　教員の資質・能力を高めます

取組の柱１　授業力の向上……35

取組の柱２　生活指導力の向上……36

取組の柱３　組織運営力の向上……37

取組の柱４　外部折衝力の向上……38

２　開かれた学校づくりを進めます

取組の柱１　家庭・地域との連携の推進……39

3　学校環境を整えます
取組の柱１　施設整備の推進……40
取組の柱２　安全・安心な環境の充実……42

施策の方向性Ⅲ　社会全体の教育力の向上
1　誰もがいつでも学べる学習機会を充実させます
取組の柱１　多様な学びの提供……43
取組の柱２　自主的な学びの支援……45
取組の柱３　学習環境の整備……47
2　地域における学びの循環を推進します
取組の柱１　学校・家庭・地域との連携……49
取組の柱２　学びをいかす機会の創出……51

施策の方向性Ⅳ　歴史遺産をいかした学びの推進
1　文化財に対する理解を深めます
取組の柱１　文化財普及事業の推進……53
取組の柱２　市民による文化財の保護・普及の促進……54
2　文化財の調査・保存・活用を進めます
取組の柱１　文化財の調査・研究の推進……55
取組の柱２　文化財の保存・活用の推進……56
取組の柱３　史跡の保存・整備・活用の推進……57

点検及び評価に関する学識経験者からの意見……58

概要について

点検・評価制度の概要

1 概要

平成 19 年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され，教育委員会の責任体制を明確化するため，教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について，点検及び評価を行うことが定められました。その結果に関する報告書を議会に提出し，公表することにより，効果的な教育行政の推進に資するとともに，住民への説明責任を果たしていくことを趣旨としています。

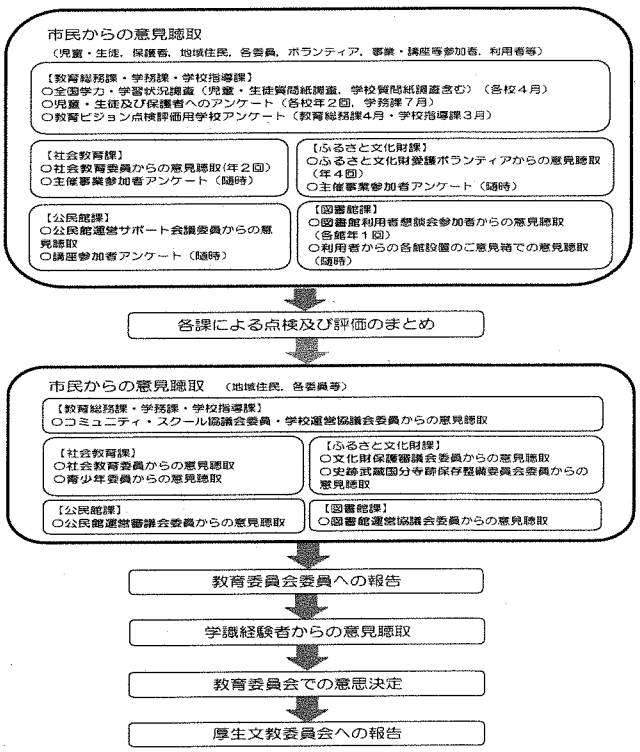
2 点検・評価の方法

教育委員会では，第２次国分寺市教育ビジョンに基づいて，様々な学校教育や社会教育の活動が実施されており，これらの活動に対して，児童・生徒やその保護者のほか，各社会教育施設の利用者なども含め，非常に多くの市民から，当該ビジョンに位置付けられた各施策についての評価をいただいております。これらに加え，令和３年度からは，児童・生徒やその保護者，また，施設利用者や事業参加者などからの声を踏まえつつ，各施策を推進する担当課において前年度の成果を４月中に取りまとめ，５月に市民が委員として入っている社会教育委員，青少年委員，文化財保護審議会委員，公民館運営審議会委員などからもそれぞれの分野において直接意見をいただくなど，新型コロナウイルス感染症の影響により一部意見聴取未実施もありますが，第２次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価の流れ（右図参照）に沿って，さらなる市民からの意見聴取の充実を図りました。

第２次国分寺市教育ビジョンでは，４つの施策の方向性とそれに対応する取組の柱を掲げ，さらに取組の柱を達成するための主要施策を示しています。各主要施策の進捗状況を確認するとともに，取組の柱ごとに，主要施策に沿った各事業の取組状況について行った点検・評価は，６月に教育委員会委員へ報告し，７月に学識経験者から意見をいただきました。

この点検・評価の結果については，10 月に教育委員会での意思決定を行い，市民への説明責任を果たし，信頼される教育行政を推進するため，議会へ提出するとともに公表します。

第２次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価の流れ



3 学識経験者の知見の活用について

点検・評価の実施にあたり，客観性の確保のため，教育に関し学識経験を有する２名の方から意見をいただきました。

東京女子体育大学教授	出張（でばり） 吉訓（よしのり） 氏
前十文字学園女子大学教授	堀竹（ほりたけ） 充（みつる） 氏

4 経過

国分寺市教育委員会では，平成 27 年度までは教育目標に基づく主要施策について，平成 28 年度から令和２年度までは教育ビジョンに基づく主要施策について点検及び評価を行ってきました。

令和２年２月に第２次国分寺市教育ビジョンが策定されたことに伴い，令和３年度からは第２次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策について点検及び評価を行っていきます。

国分寺市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱

平成21年８月18日
要綱第30号

（趣旨）

第１条　この要綱は，地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき，国分寺市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を実施することに関し必要な事項を定めるものとする。

（点検及び評価の対象）

第２条　点検及び評価の対象となる事務は，第２次国分寺市教育ビジョン（令和２年２月策定。以下「国分寺市教育ビジョン」という。）の主要施策に関する事務事業（以下「対象事務」という。）とする。

（点検及び評価の実施）

第３条　点検及び評価は，国分寺市教育ビジョンの主要施策の進ちょく状況を総括するとともに，課題や今後の取組の方向性を示すものとして，教育委員会が毎年１回実施する。

２　対象事務の主管課は，点検及び評価のための対象事務の取組状況や成果に関して，教育委員会への報告を行うものとする。

３　点検及び評価を行うに当たっては，教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（報告書の作成等）

第４条　教育委員会は，点検及び評価を行った後，その結果を取りまとめた報告書を作成し，市議会に提出するとともに市民に公表するものとする。

（庶務）

第５条　点検及び評価に関する庶務は，教育部教育総務課において処理する。

（委任）

第６条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は，別に定める。

附　則

この要綱は，教育長決裁の日から施行する。

附　則

この要綱は，平成26年４月１日から施行する。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は，平成27年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）附則第２条（旧教育長に関する経過措置）第１項の場合においては，この要綱による改正後の第１条の規定は適用せず，この要綱による改正前の第１条の規定は，なおその効力を有する。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は，決裁の日から施行する。

（経過措置）

２　この要綱による改正後の国分寺市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱の規定は，令和２年度以後の事務に係る点検及び評価について適用し，令和元年度までの事務に係る点検及び評価については，なお従前の例による。

国分寺市教育委員会の教育目標及び第2次国分寺市教育ビジョン

1 国分寺市教育委員会の教育目標

国分寺市教育委員会は，日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき，子どもたちが平和を愛し人権を尊重するとともに，郷土国分寺市の自然や文化を大切にして，心身ともに健康で，知性と感性に富み，人間性豊かに成長することを願う。

また，学校教育と社会教育が融合し，学校・家庭・地域社会の緊密な連携のもと，誰もが生涯を通じて主体的に学ぶとともに，進んで教育に参加する社会の実現を目指し，

○ 互いの人格を尊重し，思いやりのある心豊かな市民

○ 自ら学び考え行動する，個性と創造力豊かな市民

○ 健康でたくましく，共に生きる市民

の育成に努める。

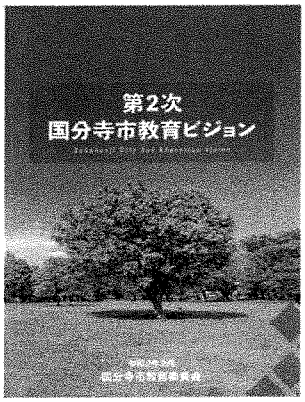
2 第2次国分寺市教育ビジョン

国分寺市教育委員会では，市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として「国分寺市教育ビジョン」（以下「教育ビジョン」という。）に続く新たな計画である「第２次国分寺市教育ビジョン」（以下「第２次教育ビジョン」という。）を令和２年２月に策定しました。

第２次教育ビジョンは，新たな時代においても，将来を担う子どもたちが健やかに成長し，すべての市民が生涯にわたって豊かな学びができる環境づくりを進めること。また，史跡武蔵国分寺跡をはじめとした様々な歴史遺産についても，更なる保存・活用等の取組を進め，伝統や文化を大事にしつつ，未来を見据えたこれからの教育にも目を向けた計画です。

教育ビジョンを推進した５年間に社会情勢は，グローバル化の進展，共生社会の実現に向けた取組等をはじめ，持続可能な社会を実現するための開発目標（ＳＤＧｓ）に対する取組等の新たな動きもあり，本市の教育を取り巻く状況は，急速に変化しています。このような変化や「教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価」に基づく成果・課題等の整理などを踏まえ，第２次教育ビジョンの計画期間は，令和２年度から令和６年度までの５年間とし，主要施策の進捗状況について点検・評価を行います。

第２次教育ビジョンの冊子は，ひかりプラザ１階・４階（教育総務課），オープナー，各図書館で閲覧できます。また，市ホームページにて掲載しています。



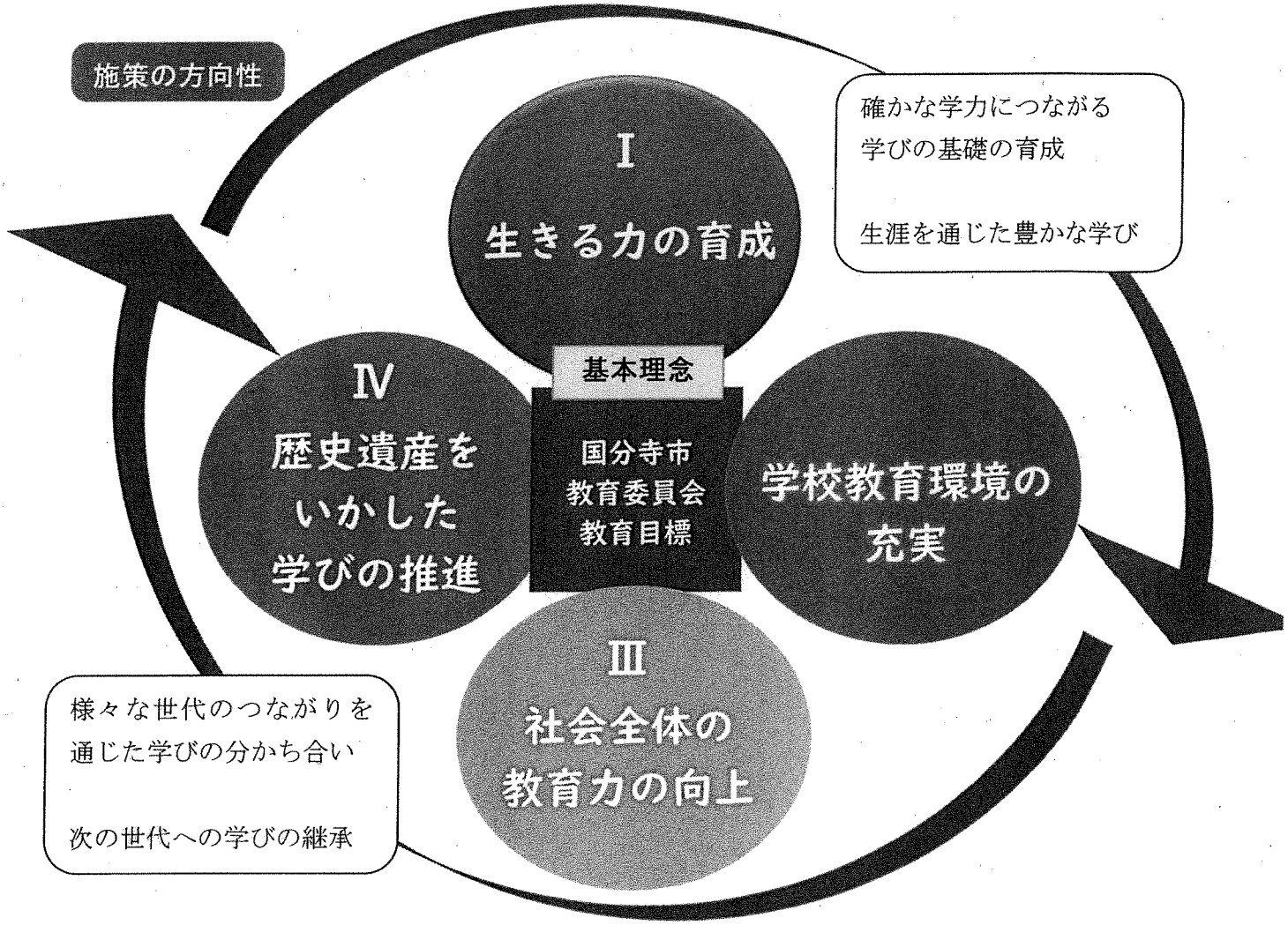
1　第２次国分寺市教育ビジョンの目指す学びのまちの姿

～人と人とがつながり，学びが循環するまち～

第２次教育ビジョンは，子ども，高齢者の世代の相違や，障害の有無等にかかわらずすべての市民が，学校や社会教育施設，地域等での学びを通じて，人と人とがつながり，互いに学び合い，学びが継承され，まちに学びがあふれるように，「人と人とがつながり，学びが循環するまち」を「目指す学びのまちの姿」とします。

このまちづくりのためには，子どもの頃から，学校等で学びの基礎を培うことはもちろん，自ら学んでいく姿勢･意欲を育むことが大切です。その「学びたい」という意欲にこたえるため，行政や地域等が連携し合い，生涯を通して学ぶことができる環境整備を行っていきます。そのように学校や地域等で学んだことを，市民一人ひとりが互いに連携して共有し，学びを地域に還元する機会の活用等により次の世代へ伝えていきます。これにより，まちの中で世代を超えて学びが循環することになります。

また，第２次教育ビジョンでは，国分寺市教育委員会の教育目標を基本理念として，下記の４つの施策の方向性を中心に，「人と人とがつながり，学びが循環するまち」を目指していきます。



2　第２次国分寺市教育ビジョンの体系

【施策の方向性Ⅰ】生きる力の育成

施策の方向性	取組の柱	主要施策
1 豊かな心を育みます	1 人権教育の推進	(1)教育活動全体を通じて行う人権教育の充実 (2)学校・家庭・地域が連携した人権教育の推進
	2 道徳教育の推進	(1)教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実 (2)「特別の教科　道徳」に関する実践的研究や研修の充実 (3)学校・家庭・地域が連携した道徳教育の推進
	3 いじめ・虐待防止等に関する取組の推進	(1)いじめ防止に向けた取組の充実 (2)虐待防止に向けた取組の充実
2 確かな学力を伸ばします	1 新しい時代に必要となる資質・能力の育成	(1)カリキュラム・マネジメントの確立 (2)主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善の推進 (3)個に応じた指導の充実 (4)家庭と連携した学習習慣の確立 (5)体験的活動を取り入れた授業等の充実 (6)指導と評価の一体化の推進
	2 持続可能な社会の創り手を育む教育の推進	(1)国際教育の充実 (2)情報教育の充実 (3)環境教育の充実 (4)キャリア教育の充実
3 健やかな体を育てます	1 豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実	(1)運動能力の向上及び運動習慣の確立 (2)運動部活動等の改善・充実
	2 健康・安全に生活する力の育成	(1)健康・安全教育の充実 (2)食育の推進 (3)学校・家庭・地域が連携した取組の推進
4 一人ひとりの個性を伸ばします	1 特別支援教育体制の充実	(1)特別支援教育の充実 (2)特別支援教育に関する環境整備の推進
	2 特別支援教育の理解推進	(1)特別支援教育の理解啓発の充実 (2)就学相談の充実
	3 教育相談体制の強化	(1)教育相談活動の充実 (2)不登校児童・生徒への支援の充実 (3)関係諸機関等との連携の強化

【施策の方向性Ⅱ】学校教育環境の充実

施策の方向性	取組の柱	主要施策
1 教員の資質・能力を高めます	1 授業力の向上	(1)校内研究・研修の充実 (2)授業公開の推進 (3)多様な研究活動の推進
	2 生活指導力の向上	(1)情報共有と行動連携の充実 (2)児童・生徒理解の充実，深化 (3)学校行事や児童会・生徒会活動の活性化
	3 組織運営力の向上	(1)働き方改革に向けた取組の推進 (2)学校評価の充実 (3)OJTの一層の推進
	4 外部折衝力の向上	(1)地域行事等への積極的参加の奨励 (2)授業や体験活動等における外部人材との連携の強化
2 開かれた学校づくりを進めます	1 家庭・地域との連携の推進	(1)地域の特色をいかした小・中連携教育の推進 (2)コミュニティ・スクール協議会，学校運営協議会の活性化 (3)学校情報の発信の充実
3 学校環境を整えます	1 施設整備の推進	(1)『学校施設長寿命化計画』の推進 (2)快適な学校生活に向けた施設の整備 (3)ICT環境整備の充実
	2 安全・安心な環境の充実	(1)地域や保護者と連携した防災・防犯対策の充実 (2)質の高い学校給食の推進

【施策の方向性Ⅲ】社会全体の教育力の向上

施策の方向性	取組の柱	主要施策
1 誰もがいつでも学べる学習機会を充実させます	1 多様な学びの提供	(1)多様な学習機会・支援の充実 (2)地域の課題等の解決に向けた学習の充実 (3)体験学習の推進
	2 自主的な学びの支援	(1)自主グループ活動支援の推進 (2)情報の提供と活用の推進 (3)ともに学ぶ機会の拡充
	3 学習環境の整備	(1)学習や活動に関する情報発信の拡充 (2)持続可能な学習環境の充実 (3)ICTを活用した環境整備の推進
2 地域における学びの循環を推進します	1 学校・家庭・地域との連携	(1)地域で学び合う機会の創出 (2)交流活動・協働事業の推進 (3)学校施設を活用した地域づくりの推進
	2 学びをいかす機会の創出	(1)学習成果の活用 (2)地域活動の担い手の育成

【施策の方向性Ⅳ】歴史遺産をいかした学びの推進

施策の方向性	取組の柱	主要施策
1 文化財に対する理解を深めます	1 文化財普及事業の推進	(1)文化財に触れる機会の拡充 (2)市の歴史に関する情報提供の推進 (3)学校教育での文化財活用の推進
	2 市民による文化財の保護・普及の促進	(1)ボランティア活動支援の充実 (2)ボランティアによる文化財普及活動の拡充
2 文化財の調査・保存・活用を進めます	1 文化財の調査・研究の推進	(1)埋蔵文化財調査の推進 (2)総合文化財調査の推進
	2 文化財の保存・活用の推進	(1)指定重要文化財の保存・公開活用の推進 (2)文化財の公開展示の充実 (3)出土した埋蔵文化財の保存環境の整備
	3 史跡の保存・整備・活用の推進	(1)史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路の保存・活用の推進 (2)史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路の公有化の推進 (3)史跡武蔵国分寺跡保存整備事業(僧寺地区)の推進

教育委員会の活動について

組織について

1　教育委員会の構成

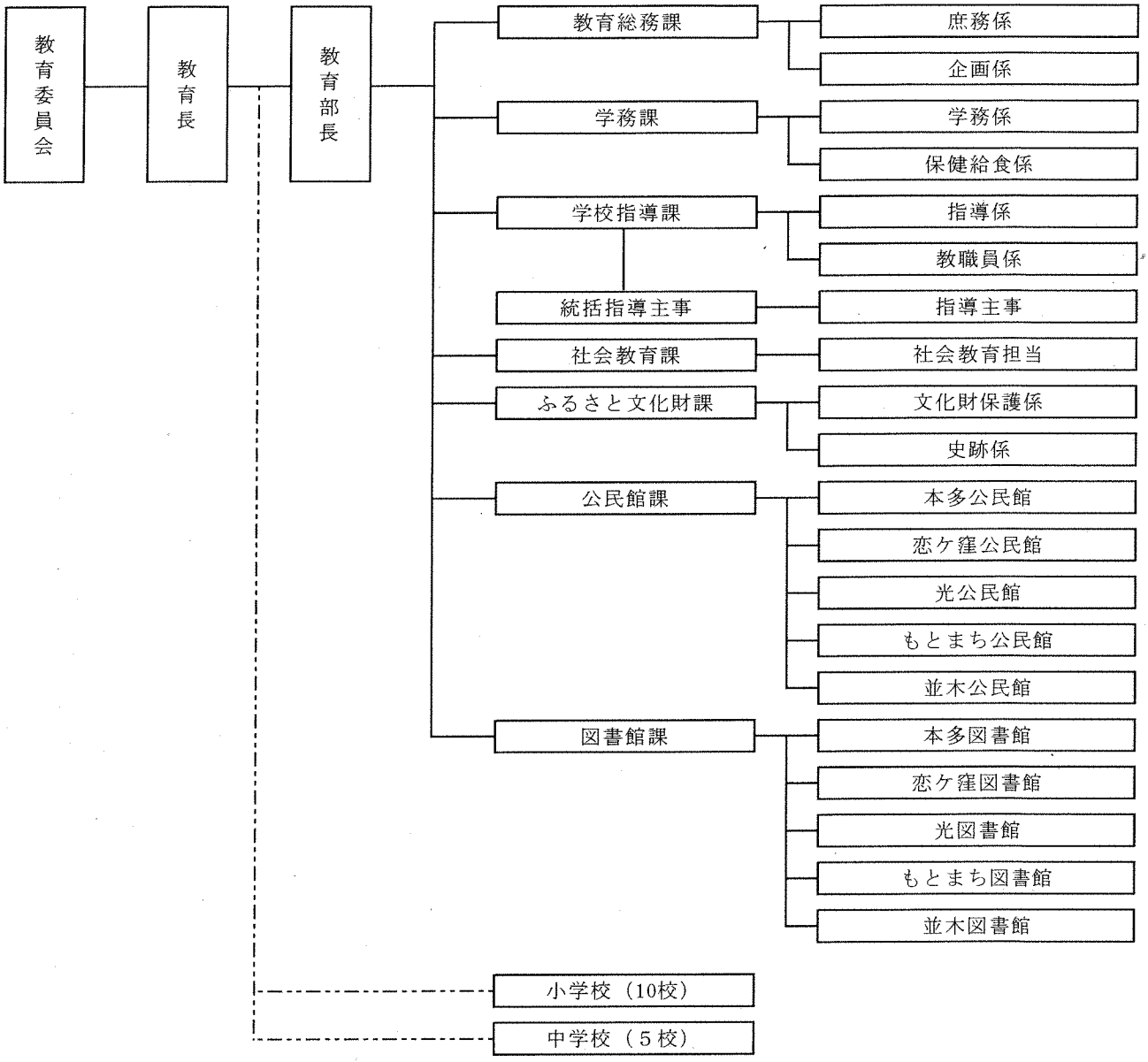
教育委員会は，市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び４人の委員で構成されています。教育長の任期は３年，委員の任期は４年です。教育長は，教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり，教育委員会を代表します。会議は教育長が招集し，議事は出席者（教育長及び委員）の過半数で決します。会議運営の必要事項は教育委員会規則で定めています。

令和３年３月 31 日現在

職　名	氏　名	任　期
教育長	古　屋　真　宏	令和２年５月26日～令和５年５月25日
教育長職務代理者	富　山　謙　一	令和元年12月22日～令和５年12月21日
委　員	大　木　桃　代	平成30年９月６日～令和４年９月５日
委　員	辻　　亜希子	令和元年12月22日～令和５年12月21日
委　員	藤　井　健　志	令和３年２月１日～令和７年１月31日

2 教育委員会組織図

令和３年３月 31 日現在



1 教育委員会

教育委員会では毎月１回定例会を開催し,教育に関する審議を行います。また，緊急に審議する必要がある案件が生じた場合には,必要に応じて臨時会を開催しています。そのほか，研究調査が必要な事項がある場合は,勉強会や話合いを行います。

(1) 令和2年第5回 国分寺市教育委員会臨時会

日程：令和２年４月２日（木）　場所：ひかりプラザ５階　教育資料室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	24	新型コロナウイルス感染症に係る国分寺市立学校の臨時休業について	学校指導課	可決
2	25	専決処分の承認について	教育総務課	承認
3	26	専決処分の承認について	学校指導課	承認

(2) 令和2年第4回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年４月23日（木）　場所：ひかりプラザ２階　203・204号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	27	専決処分の承認について	学校指導課	承認
2	28	専決処分の承認について	学校指導課	承認
3	29	令和２年度国分寺市一般会計補正予算案について	教育総務課	可決
4	30	令和２年度国分寺市公立学校運営協議会委員の委嘱について	学校指導課	可決
5	31	令和３年度使用教科用図書の採択要項の制定について	学校指導課	可決
6	32	国分寺市青少年委員の委嘱について	社会教育課	可決
7	33	欠員補充に伴う国分寺市公民館運営サポート会議委員の委嘱について	公民館課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	令和元年度国分寺市教育委員会児童生徒表彰被表彰者一覧について	教育総務課
2	令和元年度国分寺市教育委員会名義後援の承認結果について	教育総務課
3	令和２年度行政財産の使用について	教育総務課
4	寄附の受領について	教育総務課

5	小学校給食調理業務に係るアウトソーシング実施計画の年次スケジュールの変更について	学務課
6	令和２年度児童生徒数・学級数について	学務課
7	令和元年度第３回「いじめに関する調査」の結果について	学校指導課
8	算数教室について	学校指導課
9	科学教室について	学校指導課
10	平成31年度提案型協働事業「小さい子どもを育てる人のための本の時間」事業報告について	図書館課
11	令和元年度寄贈図書の受領について	図書館課
12	令和元年度における市民サービスコーナーでの図書の貸出しについて	図書館課

(3) 令和2年第6回 国分寺市教育委員会臨時会

日程：令和２年５月４日（月・祝）　場所：ひかりプラザ５階　教育資料室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	34	新型コロナウイルス感染症に係る国分寺市立学校の臨時休業について	教育総務課	可決

(4) 令和2年第5回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年５月27日（水）　場所：ひかりプラザ２階　203・204号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	35	欠員補充に伴う令和２年度国分寺市コミュニティ・スクール協議会委員の任命について	学校指導課	可決
2	36	欠員補充に伴う令和２年度国分寺市公立学校運営協議会委員の委嘱について	学校指導課	可決
3	37	令和２年度国分寺市一般会計補正予算案について	教育総務課	可決

◎協議

No	協議事項	主管課
1	授業時数の確保に向けた対応について	学校指導課

◎報告

No	報告事項	主管課
1	寄附の受領について	教育総務課

(5) 令和2年第6回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年６月 25 日（木）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	38	専決処分の承認について	教育総務課	承認
2	39	専決処分の承認について	学校指導課	承認
3	40	国分寺市教育委員会会計年度任用職員の採用，勤務時間，報酬等に関する規則の一部を改正する規則について	教育総務課	可決
4	41	国分寺市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について	学校指導課	可決
5	42	国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会委員の委嘱について	ふるさと文化財課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	令和２年第２回定例会の一般質問について	教育総務課
2	寄附の受領について	教育総務課
3	「トライルームほんだ」の開設について	学校指導課

(6) 令和2年第7回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年７月 22 日（水）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	43	市長の権限に属する事務の補助執行について	教育総務課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	令和２年度卒業式等の日程変更について	学校指導課
2	新幹線リフレッシュ事業におけるクラウドファンディングの開始について	社会教育課
3	「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」くぬぎカレッジの実施について	公民館課

(7) 令和2年第8回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年８月 25 日（火）　場所：ひかりプラザ５階　教育資料室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	44	専決処分の承認について	教育総務課	承認
2	45	専決処分の承認について	公民館課	承認
3	46	専決処分の承認について	教育総務課	承認
4	47	専決処分の承認について	教育総務課	承認
5	48	市立小学校給食調理業務委託の実施予定校の決定について	学務課	可決
6	49	令和２年度国分寺市一般会計補正予算案について	教育総務課	可決
7	50	国分寺市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について	学校指導課	可決

◎協議

No	協議事項	主管課
1	国分寺市廃棄物の減量及び再利用推進審議会委員の推薦について	教育総務課

◎報告

No	報告事項	主管課
1	寄附の受領について	教育総務課
2	令和３年度教育課程の編成に向けて	学校指導課

(8) 令和2年第7回 国分寺市教育委員会臨時会

日程：令和２年８月 27 日（木）　場所：国分寺市立 cocobunji プラザ　リオンホール　Ｂホール

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	51	令和３年度使用中学校教科用図書の採択について	学校指導課	採択
2	52	令和３年度使用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について	学校指導課	採択

(9) 令和2年第9回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年９月 30 日（水）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	53	専決処分の承認について	学務課	承認
2	54	国分寺市図書館運営協議会委員の委嘱について	図書館課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	令和２年第３回定例会の一般質問について	教育総務課
2	令和２年度第１回総合教育会議について	教育総務課
3	市立第二小学校校舎増築工事における地中埋設物について	教育総務課
4	寄附の受領について	教育総務課
5	令和２年度第１回「いじめに関する調査」の結果について	学校指導課
6	国分寺市教育７ＤＡＹＳについて	学校指導課

（10）令和2年第 10 回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年 10 月 22 日（木）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	55	国分寺市重要文化財の指定について（諮問）	ふるさと文化財課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	国分寺市ＧＩＧＡスクール構想環境整備の進捗状況について	教育総務課
2	寄附の受領について	教育総務課

（11）令和2年第８回 国分寺市教育委員会臨時会

日程：令和２年 11 月２日（月）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	56	令和２年度国分寺市一般会計補正予算案について	教育総務課	可決

（12）令和2年第 11 回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年 11 月 25 日（水）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	57	令和元年度国分寺市教育委員会教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について	教育総務課	可決
2	58	中学校における巡回型特別支援教室の拠点校の設置について	学校指導課	可決
3	59	国分寺市図書館運営協議会への諮問について	図書館課	可決

◎協議

No	協議事項	主管課
1	西恋ヶ窪四丁目用地の活用について	公民館課

◎報告

No	報告事項	主管課
1	市立第二小学校校舎増築工事に係る契約金額の変更について	教育総務課
2	国分寺市教育７ＤＡＹＳの報告について	学校指導課　他２課
3	寄附の受領について	教育総務課
4	児童生徒数等推計について	学務課
5	市立小学校６年生の校外学習への支援について	学務課
6	令和元年度不登校児童生徒数及びいじめの件数について	学校指導課
7	国分寺市公民館運営審議会への諮問について	公民館課
8	図書館利用マナーアップ啓発標語（キャッチコピー）応募状況及び審査結果について	図書館課
9	書籍消毒機の設置について	図書館課

(13)令和2年第12回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和２年 12 月 24 日（木）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	―	委員の議席について	教育総務課	抽選により議席を決定
2	60	国分寺市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について	学校指導課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	令和２年第４回定例会の一般質問について	教育総務課
2	国分寺市ＧＩＧＡスクール構想環境整備業務委託の優先交渉権者の決定について	教育総務課
3	国分寺市プレイステーションの市長部局への移管について	社会教育課
4	寄附の受領について	教育総務課

(14)令和3年第1回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和３年１月 28 日（木）　場所：ひかりプラザ５階　教育資料室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	1	令和２年度国分寺市一般会計補正予算案について	教育総務課	可決
2	2	国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	学校指導課	可決
3	3	国分寺市プレイステーション条例の一部を改正する条例について	社会教育課	可決
4	4	令和３年度国分寺市一般会計予算案について	教育総務課	可決
5	5	国分寺市立教育センター条例の一部を改正する条例について	社会教育課	可決

◎報告

No	報告事項	主管課
1	寄附の受領について	教育総務課
2	国分寺市立第二小学校給食調理業務委託による調理業務検証委員会の報告について	学務課
3	令和２年度第２回「いじめに関する調査」の結果について	学校指導課
4	令和３年度教育課程の編成に向けて（祝日の変更を受けての訂正版）	学校指導課

（15）令和3年第1回 国分寺市教育委員会臨時会

日程：令和３年２月５日（金）　場所：ひかりプラザ５階　教育資料室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	6	令和３年度市立小中学校校長の異動について	学校指導課	可決
2	7	令和３年度市立小中学校副校長の異動について	学校指導課	可決

（16）令和3年第2回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和３年２月 25 日（木）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎協議

No	協議事項	主管課
1	国分寺市国際協会の役員の推薦について	教育総務課

◎報告

No	報告事項	主管課
1	国分寺市ＧＩＧＡスクール構想環境整備業務委託の進捗状況について	教育総務課
2	令和２年度国分寺市教育委員会児童生徒表彰被表彰者について	教育総務課
3	寄附の受領について	教育総務課

(17)令和3年第3回 国分寺市教育委員会定例会

日程：令和３年３月 24 日（水）　場所：ひかりプラザ２階　203・204 号室

◎議事

No	議案番号	議案	主管課	審議結果
1	8	国分寺市教育委員会管理職職員の人事異動について	教育総務課	可決
2	9	国分寺市教育委員会の権限に属する事務の一部委任に関する規則の一部を改正する規則について	教育総務課	可決
3	10	国分寺市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について	教育総務課	可決
4	11	国分寺市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について	教育総務課	可決
5	12	国分寺市教育委員会会計年度任用職員の採用，勤務時間，報酬等に関する規則の一部を改正する規則について	教育総務課	可決
6	13	国分寺市立学校学校医，学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	学務課	可決
7	14	国分寺市立中学校給食の実施に関する規則及び国分寺市立小学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則について	学務課	可決
8	15	国分寺市社会教育委員の会議への諮問について	社会教育課	可決
9	16	国分寺市重要文化財の指定について	ふるさと文化財課	可決
10	17	国分寺市教育委員会所有 16 ミリ発声映写機使用規則を廃止する規則について	公民館課	可決
11	18	国分寺市学校教職員労働安全衛生管理規則の制定について	学校指導課	可決
12	19	衛生管理者の選任について	学校指導課	可決
13	20	衛生推進者の選任について	学校指導課	可決
14	21	学校産業医の選任について	学校指導課	可決

◎協議

No	協議事項	主管課
1	国分寺市スポーツ推進計画後期事業内容の見直しに係る意見について	スポーツ振興課

◎報告

No	報告事項	主管課
1	令和２年度国分寺市教育委員会児童生徒表彰被表彰者一覧について	教育総務課
2	寄附の受領について	教育総務課
3	国分寺市特別支援教育推進委員会設置について	学校指導課
4	令和３年度小・中学校の教育課程について	学校指導課

2　総合教育会議

平成27年度より，市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り，教育の課題や目指す姿等を共有しながら，効果的に教育行政を推進していくため，総合教育会議を開催しています。

回	開催月日	協議・調整事項	主管課
1	7月31日	「新型コロナウイルス感染症対策の現状について」 （1）　国分寺市立学校における学習支援コンテンツの活用について （2）　新型コロナウイルス感染症の理解に関する教育・人権相談について （3）　学校と学童の連携について	・学校指導課 ・人権平和課 ・子ども子育て事業課
2	3月24日	「ＳＤＧｓの推進に向けた教育の在り方について～市長部局と教育委員会との連携～」 （1）　防災教育について （2）　ジェンダー，平等（差別）について	・防災安全課 ・第一中学校 ・人権平和課 ・学校指導課 ・公民館課

教育委員会委員　活動内容

教育委員会

名　称	頻　度	実施日
教育委員会定例会	月１回	原則として毎月第４木曜日
教育委員会臨時会	５回(随時)	４/２，５/４，８/27，11/２，２/５
教育委員会委員話合い	随時	

研修

名　称	頻　度	実施日	備　考
東京都市町村教育委員会 連合会第４ブロック研修会	１回	11/６	「ハンセン病について」大高俊一郎氏 （国立ハンセン病資料館事業部社会啓発課長）
東京都市町村教育委員会 連合会研修会	１回	２/９	「新型コロナウイルス感染症の現状と対策～学校現場での取り組みについて～」角田徹氏（東京都医師会副会長、角田外科消化器科医院院長） ※Ｚｏｏｍによるオンライン研修
東京都市町村教育委員会 連合会理事研修会	１回	８/25	「東京都が求める教員像」岡部君夫氏 （東京都多摩教育事務所指導課長）

会議等

名　称	頻　度	実施日	備　考
総合教育会議	２回	７/31，３/24	
東京都市町村教育委員会 連合会理事会	３回	４/22，８/25， １/15	※第１回・第３回は書面開催
東京都市町村教育委員会 連合会定期総会	１回	５/13	※書面開催
国分寺市国際協会役員会	５回	４/20，６/18， ９/17，１/14， ３/29	役員として，教育委員会より１人推薦 ※第１～４回は書面開催 第５回はひかりプラザにて開催
国分寺市国際協会定期総会	１回	５/24	※書面開催

その他

名　称	頻　度	実施日	備　考
教育委員会主催のフォーラム	1回	11/7	第8回　国分寺市7DAYS コミュニティ・スクールフォーラム いじめ防止　児童生徒会フォーラム （会場：いずみホール）
市立小中学校の研究発表会	2回	2/16, 2/17～19 （各々1日）	（三小・一中）オンライン開催

※例年活動しているが新型コロナウイルス感染症対策により規模縮小実施のため
　未活動または中止となった内容

学校訪問

名　称
市立小中学校訪問

研修

名　称
東京都市教育長会研修会
東京都市町村教育委員会連合会理事研修会（1/25開催予定分）

会議等

名　称
学校教育懇談会
教育施策連絡協議会
国分寺市廃棄物の減量及び再利用推進審議会（毎年委員として，教育委員会より1人推薦）

式典

名　称
市立小中学校入学式
市立小中学校卒業式
成人式
辞令伝達式

その他

名　称
公民館運営審議会委員との面談
活動以外の市立小中学校の体育的行事及び文化的行事や研究発表会等の行事
教育委員会主催の諸行事，市主催の表彰式等の行事，他団体からの依頼による式典・行事等

教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について

第2次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価の担当表

施策の方向性				取組の柱		ページ	点検及び評価担当課	評価
Ⅰ	生きる力の育成	1	豊かな心を育みます	1	人権教育の推進	24	学校指導課	5
				2	道徳教育の推進	25	学校指導課	4
				3	いじめ・虐待防止等に関する取組の推進	26	学校指導課	5
		2	確かな学力を伸ばします	1	新しい時代に必要となる資質・能力の育成	27	学校指導課	5
				2	持続可能な社会の創り手を育む教育の推進	29	学校指導課	5
		3	健やかな体を育てます	1	豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実	30	学校指導課	5
				2	健康・安全に生活する力の育成	31	学校指導課，学務課	4
		4	一人ひとりの個性を伸ばします	1	特別支援教育体制の充実	32	学校指導課	5
				2	特別支援教育の理解推進	33	学校指導課	5
				3	教育相談体制の強化	34	学校指導課	5
Ⅱ	学校教育環境の充実	1	教員の資質・能力を高めます	1	授業力の向上	35	学校指導課	4
				2	生活指導力の向上	36	学校指導課	5
				3	組織運営力の向上	37	学校指導課	4
				4	外部折衝力の向上	38	学校指導課	4
		2	開かれた学校づくりを進めます	1	家庭・地域との連携の推進	39	学校指導課	4
		3	学校環境を整えます	1	施設整備の推進	40	教育総務課	5
				2	安全・安心な環境の充実	42	学務課	5
Ⅲ	社会全体の教育力の向上	1	誰もがいつでも学べる学習機会を充実させます	1	多様な学びの提供	43	社会教育課，公民館課，図書館課	3
				2	自主的な学びの支援	45	社会教育課，公民館課，図書館課	3
				3	学習環境の整備	47	社会教育課，公民館課，図書館課	4
		2	地域における学びの循環を推進します	1	学校・家庭・地域との連携	49	社会教育課，公民館課，図書館課	3
				2	学びをいかす機会の創出	51	社会教育課，公民館課，図書館課	3
Ⅳ	歴史遺産をいかした学びの推進	1	文化財に対する理解を深めます	1	文化財普及事業の推進	53	ふるさと文化財課	3
				2	市民による文化財の保護・普及の促進	54	ふるさと文化財課	3
		2	文化財の調査・保存・活用を進めます	1	文化財の調査・研究の推進	55	ふるさと文化財課	4
				2	文化財の保存・活用の推進	56	ふるさと文化財課	4
				3	史跡の保存・整備・活用の推進	57	ふるさと文化財課	5

5：順調に進んでいる　4：概ね順調に進んでいる　3：やや遅れている　2：遅れている　1：実績なし

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－1】　豊かな心を育みます

取組の柱１	人権教育の推進

子どもたちが，人権尊重の理念を理解し，実践する態度を身に付けるために，各学校で児童・生徒の発達段階に応じ，全教育活動を通して人権尊重の意識を高め，一人ひとりを大切にした教育の充実を図っていきます。
また，家庭・地域に対する人権教育についての啓発活動を充実させて，学校・家庭・地域との連携を図っていきます。
こうした取組を通して，子どもたちの自他の大切さを認める心情や，様々な場面において自分で判断して行動をとることのできる実践力等，人権が尊重される社会づくりに寄与する資質・能力を育む人権教育を推進していきます。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	教育活動全体を通じて行う人権教育の充実	全校が，学校経営方針に人権教育の取組を記載するとともに，人権教育全体計画等の見直しや改善を行った。					学校は，児童・生徒の発達段階に応じ，全教育活動を通して人権尊重の意識を高め，一人ひとりを大切にした教育の充実を図っている。
	学校指導課	5					
2	学校・家庭・地域が連携した人権教育の推進	学校だよりやブログ等を通して，全校が家庭や地域へ人権教育に関する取組について周知を図った。					学校は研修を充実させ，教職員の人権感覚の向上を図るとともに，学校だより等を通して家庭や地域へ取組を発信しながら連携を深めている。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5					次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性		学校・家庭・地域が連携した人権教育を推進するために，コロナ禍における連携方法の工夫を検討していく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	人権教育の全体計画や年間指導計画を見直し，改善を図った学校数	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	人権教育推進委員会で作成した人権教育推進資料等を活用し，授業改善を図った学級の割合		－

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	各学校の実態に応じた課題を踏まえ，全校が人権教育の全体計画や年間指導計画の見直しや改善を図った。					
	評価	A					
②	実績	小学校：100% 中学校：100%					小学校：100% 中学校：100%
	説明	小・中学校共に，全学級が人権教育推進委員会資料等を活用して，授業改善を図った。					
	評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－1】　豊かな心を育みます

取組の柱2	道徳教育の推進

子どもたちが，確かな倫理観や道徳性を身に付けるために，各学校で差別をすることや偏見を持つことなく，誰に対しても公正，公平にし，正義の実現に努めることや，公徳心を持って法や決まりを守り，自他の権利を大切にし，進んで義務を果たすとともに，多様な考え方を尊重する心を育てます。
さらに，人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念や自立心，自尊感情等，他者と関わり，社会に貢献することができる力などを育む道徳教育を学校・家庭・地域が連携して推進していきます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	教育活動全体を通して行う道徳教育の充実	全校が，学校経営方針に道徳教育の取組を記載するとともに，道徳教育全体計画等の見直しや改善を図った。					学校は，各教科や領域の特性をいかし，全教育活動を通して児童・生徒がよりよく生きるための基盤となる道徳性の育成を計画的に行っている。
	学校指導課	5					
2	「特別の教科　道徳」に関する実践的研究や研修の充実	道徳教育推進委員会では，授業実践を通した研究の成果をまとめ，全教員にリーフレットを配布した。 学校では，コロナ禍の影響により，研究授業や研修が実施できないこともあったが，当該資料の活用などを通して，全校で授業改善を図った。					学校は，「特別の教科　道徳」の指導方法や指導内容の充実に関する実践的研究や研修を充実させている。
	学校指導課	3					
3	学校・家庭・地域が連携した道徳教育の推進	道徳授業地区公開講座がコロナ禍により実施できなかった学校もあったが，学校だよりやブログ等を通して道徳教育に関する取組の周知に努めた。					全学校で，道徳授業地区公開講座を実施するなど，学校・家庭・地域が連携して子どもたちの豊かな人間性を育む道徳教育を推進している。
	学校指導課	3					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		道徳が教科となった経緯を踏まえ，授業の質的改善をさらに研究していく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	道徳教育の全体計画や年間指導計画を見直し，改善を図った学校数	現状値（令和元年度）	―
成果指標②	道徳教育推進委員会で作成した道徳教育推進資料等を活用し，授業改善を図った学級の割合		―

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	各学校の実態に応じた課題を踏まえ，全校が道徳教育の全体計画や年間指導計画の見直しや改善を図った。					
	評価	A					
②	実績	小学校：100% 中学校：100%					小学校：100% 中学校：100%
	説明	小・中学校共に，全学級が道徳教育推進委員会資料等を活用して，授業改善を図った。					
	評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－1】　豊かな心を育みます

取組の柱３	いじめ・虐待防止等に関する取組の推進

「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき，いじめを根絶するために子どもたちが自他を大切にする豊かな心を育み，いじめを許さない強い意志を持ちながら生活できるよう，学校・家庭・地域が一体となっていじめ防止教育の充実に取り組むとともに，早期発見・早期対応に努めます。
また，子どもや保護者との信頼関係の構築に努め，子どもの表情や身体の変化を見逃さないように注意する等，虐待の早期発見に努めます。虐待を発見した場合は，関係機関と連携して虐待を受けた子どもに対して必要な支援を行います。

５年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	いじめ防止に向けた取組の充実	児童会・生徒会フォーラムでは，「STOPいじめ！国分寺５カ条」「国分寺子どもeルール」の見直しをテーマに話し合った。その後，各学校で，話し合いの結果をいかした様々な取組が行われた。					学校は，自他を大切にする心情を育てるとともに，いじめを許さない強い意識を持った児童・生徒を育てている。
	学校指導課	5					
2	虐待防止に向けた取組の充実	児童・生徒虐待対応担当教諭研修会は，コロナ禍により中止としたが，虐待対応について，校内委員会等で定期的に確認するよう校長連絡会で依頼した。各校では，校内委員会を月１回以上実施し，家庭状況も含めた子どもの様子の情報共有や対応の検討が行われた。					学校は，子どもや保護者との信頼関係の構築に努め，子どもの表情や身体の変化を見逃さないように注意する等，虐待の早期発見に努めている。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		いじめ防止に対する児童・生徒の主体的な取組を推進するため，児童会・生徒会フォーラムや小・中連携教育等を活用し，具体的な取組につなげていく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	認知したいじめのうち，聞き取りや話合い等の対応を図った件数の割合				現状値（令和元年度）	―
成果指標②	「いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という問いに，肯定的な回答をした児童・生徒の割合					小学校：98.0% 中学校：92.7%
年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
① 実績	100%					100%
① 説明	認知したいじめの全ての案件について，被害児童からの聞き取りや加害児童への指導等の対応が図られた。					
① 評価	A					
② 実績	―					小学校：100% 中学校：100%
② 説明	コロナ禍により，全国学力・学習状況調査が中止となったため，評価不能。					
② 評価	―					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－2】　確かな学力を伸ばします

取組の柱１	新しい時代に必要となる資質・能力の育成

「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」，「思考力，判断力，表現力等の育成」，「学びに向かう力，人間性等の涵養」という視点から授業改善に取り組むとともに，指導にいかす評価を工夫していきます。その際，教科横断的な視点から教育内容を配列し，教育課程の編成を工夫します。
また，子どもたち一人ひとりの能力や適性に応じて個別最適化された学びの実現を図るとともに，家庭と連携した学習習慣の確立に努めていきます。
さらに，体験的な活動を重視した取組も充実していきます。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄）					到達目標
		令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	
1	カリキュラム・マネジメントの確立	全校の教育課程にカリキュラム・マネジメントに関する内容が盛り込まれていた。また，教科等の年間指導計画に教科横断的な視点も反映されており，適正に実施した。					学校は，教科横断的な視点で教育内容の配列を工夫しながら，学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応できる力を育んでいる。
	学校指導課	5					
2	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善の推進	授業改善の推進について，全校の教育課程に明記され，校内研究等と関連させながら，全学級で取組を進めた。					学校は，主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえて，授業の創意工夫や教材，教具の効果的な活用を図るなど，目標を明確にした授業改善を推進している。
	学校指導課	5					
3	個に応じた指導の充実	ＧＩＧＡスクール構想による1人1台の端末環境の効果的な活用に向け，年度末に全校で全教員を対象に研修を行い，次年度の準備を整えることができた。					学校は，読解力や情報活用能力など基盤的な学力を確実に習得させるとともに，個人の進度や能力，関心に応じた学びの場の充実を図っている。
	学校指導課	5					
4	家庭と連携した学習習慣の確立	コロナ禍における対応として学習支援コンテンツの導入等に取り組み，家庭学習におけるタブレット活用の検討にいかした。					学校は，確かな学力の定着のために，学習意欲や粘り強く課題に取り組む態度などを育みながら，家庭での学習習慣の確立を推進している。
	学校指導課	5					
5	体験的活動を取り入れた授業等の充実	各学校ではコロナ禍においてもグループの人数を減らしたり，場所を広く確保したりしながら，体験的活動を取り入れた授業を工夫して行った。					学校は，各教科等の特質に応じた体験的活動を重視するとともに，体験的活動を取り入れた授業等の充実を図っている。
	学校指導課	5					
6	指導と評価の一体化の推進	中学校では，令和3年度から学習指導要領の全面実施となることを踏まえ，市の教育研究会等で各教科の評価の在り方について学びながら，評価規準等の見直しを図った。					学校は，児童・生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに，その評価を基に指導の過程や成果を振り返り，授業改善を図っている。
	学校指導課	5					

評価の平均値	5				次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性	令和3年度から中学校において学習指導要領が全面実施となるため，教育課程の進行管理の徹底を図っていく必要がある。				

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	授業内容の理解に関して，肯定的な回答をした児童・生徒の割合				現状値（令和元年度）	小学校：91.3% 中学校：79.1%
成果指標②	全国学力・学習状況調査の算数・数学における東京都の平均正答率との差					小学校：4.0ポイント 中学校：5.0ポイント
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	目標値
① 実績	ー					小学校：97% 中学校：87%
① 説明	コロナ禍により，都の児童・生徒の学力向上を図るための調査が中止となったため，評価不能。					
① 評価	ー					
② 実績	ー					小学校：5.0ポイント 中学校：6.0ポイント
② 説明	コロナ禍により，全国学力・学習状況調査が中止となったため，評価不能。					
② 評価	ー					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－2】　確かな学力を伸ばします

取組の柱2	持続可能な社会の創り手を育む教育の推進

外国語教育を充実するとともに，異なる文化への理解を深め，国際社会に主体的に貢献できる人材の育成に努めます。
また，情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく，手段として活用していく力を育てるとともに，世界を変えるための17の目標「SDGs」を踏まえて，持続可能な社会づくりのための課題解決に必要な能力・態度を育てます。
さらに，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力についてもキャリア教育を通して育てていきます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄）					到達目標
		令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	
1	国際教育の充実	外国語教育推進委員会を年間3回開催し，授業研究を通して得た成果を，リーフレットにまとめて，小学校全教員に配布した。学校では，当該資料等を活用した授業改善を図った。					学校は，国際社会の中での共存・協力を実現するために，異文化とともに我が国の伝統や文化についての理解とそれを尊重する態度を育てている。
	学校指導課	5					
2	情報教育の充実	情報教育推進委員会では，１人１台端末の活用ルールや活用スケジュールについて検討した。2月に各校に原案を示し，3月末には全校が作成を完了した。					学校は，ICTを積極的に活用しながら各教科等の学習を充実させるとともに，情報モラル教育の徹底を図っている。
	学校指導課	5					
3	環境教育の充実	都の「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」の指定を受けた第一中学校の研究成果等について，発表会を通して，市内全体で共有を図った。					学校は，ESDやSDGsとの関連を踏まえ，持続可能な社会づくりに向けた問題の解決に必要な資質・能力を育てている。
	学校指導課	5					
4	キャリア教育の充実	市独自の「キャリア・パスポート」の形式を提示し，各校における作成を指導してきた。各学校では，工夫しながら活用を図った。					学校は，児童・生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けられるよう，各教科等の特質に応じてキャリア教育を充実している。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		GIGAスクール構想による１人１台端末の効果的な活用を推進するため，計画的に研修を実施するとともに，各校の実践事例の共有を定期的に行っていく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	外国語教育推進委員会で作成した外国語教育推進資料等を活用し，授業改善を図った学級の割合	現状値（令和元年度）	―
成果指標②	「ICTを活用した授業を積極的に行っているか。」という問いに，肯定的な回答をした学校数		―

年度		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	小学校100% 中学校　―					小学校：100% 中学校：100%
	説明	外国語教育推進委員会が小学校対象で開催だったため小学校のみの評価となる。令和3年度からは，小・中学校を対象として委員会を開催する予定。					
	評価	A					
②	実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	全校が肯定的な回答をしているが小学校2校，中学校1校が「概ねあてはまる」に留まっている。GIGAスクール構想を踏まえた充実が課題となる。					
	評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－3】　健やかな体を育てます

取組の柱１	豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実

体育の授業や日常生活における体育的活動を充実させ，運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに，運動の多様な楽しみ方を学ばせます。そして，学習したことを実生活や実社会にいかし，豊かなスポーツライフを実現することができるようにします。

また，「東京都児童・生徒体力・運動能力，生活・運動習慣等調査」の結果を活用し，課題を明確にした上で，その課題解決に向けて各校で目標を定め，継続して取り組みます。

中学校における運動部活動については，「運動部活動の在り方に関する方針」に基づき活動方針を定め，生徒が自主的・自発的に活動し，バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができる場となるよう，運営方法を改善・充実させていきます。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	運動能力の向上及び運動習慣の確立	体育の授業については，コロナ禍による制約がある中，小・中学校共に，感染防止対策を工夫しながら，必要な指導内容を適切に実施することができた。					学校は，体育の授業や日常生活における体育的活動を充実させながら，運動能力の向上や運動習慣の確立を図っている。
	学校指導課	5					
2	運動部活動等の改善・充実	専門性の高い指導を行うため，また，働き方改革を踏まえ，部活動指導員を中学校全体で５人配置した。					学校は，運動部活動等において，生徒が自主的・自発的に活動し，バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができる場となるよう，運営方法の改善・充実を図っている。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5					次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性		働き方改革をさらに促進するため，部活動指導員の配置人数を増加していく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし

●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	東京都児童・生徒体力・運動能力，生活・運動習慣等調査において，「運動をもっとしたいと思うか。」という問いに，肯定的な回答をした児童・生徒の割合	現状値（令和元年度）	―
成果指標②	東京都児童・生徒体力・運動能力，生活・運動習慣等調査において，小学校６年生と中学校３年生の体力合計点が東京都の平均値を上回る学校数		―

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	―					小学校：100% 中学校：100%
	説明	コロナ禍により，東京都児童・生徒体力・運動能力，生活・運動習慣等調査が中止となったため，評価不能。					
	評価	―					
②	実績	―					小学校：10校 中学校：５校
	説明	コロナ禍により，東京都児童・生徒体力・運動能力，生活・運動習慣等調査が中止となったため，評価不能。					
	評価	―					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－3】　健やかな体を育てます

取組の柱２	健康・安全に生活する力の育成
自分の体や心の健康に対する関心を高め，自己の健康についての課題の解決に向けて主体的に学習することを通して，生涯にわたって健康を保持・増進しようとする態度を育てます。 また，セーフティ教室や薬物乱用防止教室を開催して子どもたちの危機回避能力を高め，健康で安全な生活を営むことができる力を育てます。	

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	健康・安全教育の充実	保健領域の学習内容について，小・中学校共に，全校で年間指導計画の作成が行われるとともに，適切に進行管理がされた。					学校は，生涯にわたって健康を保持・増進しようとする態度や健康で安全な生活を営むことができる力を育てている。
	学校指導課	5					
2	食育の推進	オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン国等の料理を提供したことやコロナ禍により食材の在庫が大幅に増加したことから国の事業による牛肉や鯛の食材提供を受け，食への関心を高めた。しかし，コロナ禍のため，とうもろこしの皮むき等，体験を通しての食育は中止とした。					学校では，給食の時間をはじめ教育活動全体を通して食育を推進している。
	学務課	3					
3	学校・家庭・地域が連携した取組の推進	全校が，セーフティ教室や薬物乱用防止教室を予定していたが，コロナ禍のため，児童・生徒のみでの開催とするなど工夫をしながら実施した。なお，保護者，地域に対しては，学校だよりやブログ等を通して周知を図った。					学校は，学校・家庭・地域が意見交換等ができる場を設定しながら，互いに協力して健康課題に関する取組を推進している。
	学校指導課	4					
評価の平均値		4					次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性		学校指導課は，学校・家庭・地域が連携した取組を推進するため，感染防止対策を踏まえたセーフティ教室等の実施方法について，さらに工夫を検討していく。学務課の食育の推進については，小・中学校の栄養士による連絡会を定期的に開催し情報共有を行う。また農業者からの話や体験等，食に関心が高まるような食育指導を進めていく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	セーフティ教室及び薬物乱用防止教室の内容を見直し，改善を図った学校数				目標値	－
成果指標②	小学校栄養職員等による食育指導の回数					各校（平均）23.1回／年
年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和６年度
① 実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
① 説明	全校で昨年度までの課題を基に，実施内容等の見直しや改善を図ったが，コロナ禍による臨時休業等により，開催が中止となった学校もあった。					
① 評価	A					
② 実績	各校（平均）8.5回／年					各校25回／年
② 説明	コロナ禍のため，野菜のさやむき等，児童が密になる食育指導を中止した。					
② 評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－4】　一人ひとりの個性を伸ばします

取組の柱1	特別支援教育体制の充実
子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを的確に捉え，通常の学級でのきめ細やかな指導・支援の充実と併せて，特別支援学級及び通級指導学級（特別支援教室）での指導・支援の充実，発展を図ります。その中で，生活や学習上の困難を改善，克服し，主体的・積極的に社会に参画しようとする意識を育みます。	

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	特別支援教育の充実	次年度小学校入学予定の御家庭を対象に例年，特別支援教育説明会を開催しているが，コロナ禍のため，中止とした。代替として，ホームページによる広報や希望者への書面配布を行った。					学校は，子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを的確に捉えながら，指導・支援の充実・発展を図っている。
	学校指導課	4					
2	特別支援教育に関する環境整備の推進	令和3年度から中学校の巡回型特別支援教室を開始するため，特別支援教室運営委員会で検討を重ね，令和2年12月には運営マニュアルを作成し，各校に配布した。					教育委員会は，特別支援学級や特別支援教室等の環境整備を計画的に進めるとともに，副籍制度の適切な運営を図っている。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		第３次特別支援教育基本計画（義務教育時）を見直し，令和４年度からの計画作成を計画的に進めていく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	「学校生活支援シートを必要な児童・生徒に作成し，活用しているか。」という問いに，肯定的な回答をした学校数	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	副籍制度による交流希望者のうち，交流活動が行われている児童・生徒の割合		小学校：100% 中学校：100%

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	学校生活支援シートの作成には，保護者の協力が不可欠なため，保護者への理解啓発をさらに工夫していく必要がある。					
	評価	A					
②	実績	小学校：100% 中学校：100%					小学校：100% 中学校：100%
	説明	コロナ禍により直接交流が困難な状況ではあったが感染防止対策を工夫しながら短時間の直接交流ができた事例もあったため事例の共有を図っていく。					
	評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－4】　一人ひとりの個性を伸ばします

取組の柱２	特別支援教育の理解推進

特別な支援を必要とする子どもたちの能力や可能性を最大限に伸長するために，教員，子ども，保護者，地域住民が特別支援教育について理解を深めていくための取組を推進していきます。
また，子どもたち一人ひとりに適切な教育や支援を行うため，様々な機関との協議を通して就学先を検討するとともに，必要に応じて，就学後の支援も行っていきます。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	特別支援教育の理解啓発の充実	若手教員育成研修では，１～３年次全てで特別支援教育に関する研修を実施した。コロナ禍のため，資料を基に各自研修を行う書面開催とした。					教育委員会及び学校は，教員，子ども，保護者，地域住民が特別支援教育について理解を深めていくための取組を充実させている。
	学校指導課	4					
2	就学相談の充実	個別支援委員会を年間15回開催し，一人ひとりの子どもの実態に応じた支援について検討を行った。相談件数の増加への対応が今後の課題となる。					教育委員会は，子どもたち一人ひとりに適切な教育や支援を行うため，様々な機関との協議を通して就学先を検討するとともに，必要に応じて就学後も関係機関と連携して支援している。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5					次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性		相談件数の増加に伴う，就学相談及び教育相談の在り方について，次期計画への反映を念頭に，特別支援教育推進委員会で検討していく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	特別支援教育研修会への参加者が役に立つと回答した割合	目標値	99%
成果指標②	特別支援教育に関する理解啓発の取組を行った学校数		－

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和６年度
①	実績	－					100%
	説明	コロナ禍により，夏季特別支援教育研修会は中止とし，若手教員育成研修も書面開催としたため，アンケートが実施できず，評価不能。					
	評価	－					
②	実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	コロナ禍により，講演や意見交換会等は設定できなかったが，学校だよりやブログを通して各校の取組等の紹介を行った。					
	評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅰ　生きる力の育成

【Ⅰ－4】　一人ひとりの個性を伸ばします

取組の柱3	教育相談体制の強化
子どもたちが毎日元気に充実した生活を送るために，悩みを持った子どもや保護者等が相談しやすい体制や環境を整備します。また，相談内容に応じて関係諸機関と連携を図り，問題解決のための方策を探っていきます。	

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄）					到達目標
		令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	
1	教育相談活動の充実	臨時休業明けには，小学校5年生と中学校1年生を対象に，スクールカウンセラーの全員面接を全校で実施し，コロナ禍における子どもたちの状況把握に努めた。					教育委員会は，教育相談室の定期的な巡回やスクールカウンセラーの配置等を通して，各学校の教育相談活動の充実を図っている。
	学校指導課	5					
2	不登校児童・生徒への支援の充実	トライルームの利用者数が増加していることを踏まえ，８月から本多公民館に「トライルームほんだ」を新設し，週2日の試行的運用を開始した。					学校は，不登校児童・生徒一人ひとりの状況を丁寧に把握し，サポート教室やトライルーム等を活用しながら，寄り添った対応を図っている。
	学校指導課	5					
3	関係諸機関等との連携の強化	2名のスクールソーシャルワーカーが，学校を定期的に巡回し，児童・生徒の状況把握や家庭訪問等を通した支援などを行いながら，一人ひとりの状況に応じた丁寧な対応に努めた。					教育委員会や学校は，スクールソーシャルワーカーを中心に，関係諸機関と連携し，課題解決を図っている。
	学校指導課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		不登校児童・生徒への支援の充実を図るため，トライルームほんだの開設日の増加等を検討していく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	教育相談室における相談件数				現状値（令和元年度）	教育相談　417件 電話相談　39件
成果指標②	トライルーム利用生徒の進路決定率					100%
年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和６年度
① 実績	教育相談　371件 電話相談　56件					500件
① 説明	コロナ禍により，4，5月の対面相談が行えなかったため，教育相談の件数は減少し，電話相談が増加する結果となった。					
① 評価	A					
② 実績	100%					100%
② 説明	トライルームでは，学校と密に連絡を取りながら，面接や論文等の練習を継続して実施した。3月末には，全員が進路を決定した。					
② 評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－1】　教員の資質・能力を高めます

取組の柱1	授業力の向上

急速な社会の変化に主体的に向き合い，他者と協働して，物事を解決しようとする資質・能力を子どもたちに身に付けさせるため，教員は，研究と修養に努めるとともに，PDCAサイクルを活用した授業改善に取り組みます。具体的には，各学校の校内研究の充実を図るとともに，多様な研究活動による成果を市全体で共有していきます。
さらに，積極的に授業を公開し，授業改善にいかしていきます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和2年度～5年度）・達成状況（令和6年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和2年度	～令和3年度	～令和4年度	～令和5年度	～令和6年度	到達目標
1	校内研究・研修の充実	夏季特別研修等，希望参加の研修はコロナ禍のため中止となったが，若手教員育成研修や中堅教諭資質向上研修等の職層研修は，方法を工夫して実施した。					教員は，授業を通して教員同士で学び合い，協議する中で，管理職や講師の助言を受けながら，授業力を高めている。
	学校指導課	4					
2	授業公開の推進	コロナ禍により，授業の公開は困難な状況だったが，各学校では，おたよりやSNS等を通して，授業や取組等の様子について積極的に情報発信を行った。					教員は，保護者や地域住民へ授業を積極的に公開することを通して，客観的な立場からの評価を受け，授業改善を図っている。
	学校指導課	4					
3	多様な研究活動の推進	市教育研究会では，各教科等の部会ごとに，研究授業を通した実践的な研究等に取り組んだ。コロナ禍のため，紙面発表を通して，情報共有を行った。					教員は，市教育研究会等における研究活動を通して，実践的な指導力の向上を図っている。
	学校指導課	4					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		教員の授業力向上を推進するため，感染防止対策を踏まえた実施方法を工夫しながら，計画的に職層研修や専門教育研修を実施していく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①		研究協議会を設定した校内授業研究会を年間5回以上開催した学校数				現状値（令和元年度）	小学校：8校 中学校：2校
成果指標②		小・中学校が学校公開を設定した平均日数					9.1日
年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
①	実績	小学校：4校 中学校：1校					小学校：10校 中学校：5校
	説明	コロナ禍による臨時休業等の影響もあり，研究授業を計画的に実施することが困難な状況であったが，実態に応じて実施方法を工夫した。					
	評価	C					
②	実績	－					10日
	説明	コロナ禍により，保護者や地域を対象とした学校公開が行える状況ではなかったため評価不能。					
	評価	－					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－1】　教員の資質・能力を高めます

取組の柱２	生活指導力の向上

教員は，いじめに関わる問題や不登校児童・生徒への対応等に丁寧に取り組むため，教員同士や関係機関等との情報共有や行動連携を図りながら，子どもたちの個性や状況を的確に把握することに努めていきます。また，子どもや保護者の思いに寄り添いながら，健やかな成長に必要な指導・助言又は支援を行うとともに，学校行事等を活用して，子どもたちの主体性の向上を図ることのできる教員の育成に取り組みます。

５年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	情報共有と行動連携の充実	全校が地域・関係機関等と連携して，児童・生徒の生活指導に関する課題について話し合う場を設定した。小・中学校で延べ62回実施された。					教員は，いじめ問題や不登校への対応に丁寧に取り組むため，教員同士や関係機関等との情報共有や行動連携を図っている。
	学校指導課	5					
2	児童・生徒理解の充実，深化	全校が，校内委員会を月1回以上設定し，児童・生徒に関する情報共有を図った。 生活指導主任会では，コロナ禍のため，書面による情報共有やＰＣの掲示板機能を活用した意見交換等を実施し，いじめや不登校等の効果的な対応方法を共有することができた。					教員は，いじめ等の諸問題の解決に資するため，担任を中心として，児童・生徒一人ひとりの状況を把握し，組織的に対応を図っている。
	学校指導課	5					
3	学校行事や児童会・生徒会活動の活性化	コロナ禍において，各校が感染防止対策を徹底した上で，学校の実態に応じた工夫をしながら，可能な範囲で学校行事等を行った。					教員は，児童・生徒の主体的に解決する力や自己の生活をより良く改善しようとする力を育成するため，学校行事等の活性化を図っている。
	学校指導課	4					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		コロナ禍において，関係機関等との会議や学校における行事等を実施していくためには，感染防止対策を徹底した上で開催する方法について検討していく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	学校サポートチーム会議を開催した学校数	現状値（令和元年度）	小学校：10校 中学校：５校
成果指標②	いじめに関する校内研修を年３回以上実施した学校数		－

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	コロナ禍において，各学校ではサポートチームのメンバーが来校された機会を活用しながら，課題解決に向けた情報共有や検討をすることができた。					
	評価	A					
②	実績	小学校：８校 中学校：５校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	コロナ禍による臨時休業等の影響を踏まえ，都が年２回以上の実施を原則と変更したため，小学校２校は２回の実施となった。					
	評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－1】　教員の資質・能力を高めます

取組の柱3	組織運営力の向上

校長のリーダーシップのもと，教職員一人ひとりが組織の一員としての意識を持ち，積極的に学校運営に参画していくことが必要であるため，学校では，OJTを一層推進し，組織対応の重要性について共通理解を図るとともに，学校評価をいかした組織の見直しを行っていきます。
また，この見直しに合わせ，教員の働き方改革に向けた取組も推進していきます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和2年度～5年度）・達成状況（令和6年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和2年度	～令和3年度	～令和4年度	～令和5年度	～令和6年度	到達目標
1	働き方改革に向けた取組の推進	コロナ禍により，これまでの業務からの変更を余儀なくされたが，様々な行事や取組等を見直す機会ともなっただめ，今後の取組にいかしていく必要がある。					教員は，「国分寺市立学校における働き方改革推進プラン」に基づき，各校の実態に応じた具体的な取組を推進している。
	学校指導課	3					
2	学校評価の充実	コロナ禍により，学校運営協議会等が予定通り開催できないこともあったが，書面開催等の工夫をしながら全校が適正に学校評価を実施し，学校改善にいかした。					教員は，客観的なデータに基づいた学校評価を実施し，PDCAサイクルを活用した学校改善を図っている。
	学校指導課	5					
3	OJTの一層の推進	感染防止対策を徹底した上で，各学校の教員等の実態に応じて，授業観察やミニ研修会等のＯＪＴを定期的に行った。					教員は，校内におけるＯＪＴの実施方法等を工夫し，指導技術や生活指導力等の向上を図っている。
	学校指導課	5					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		教員の働き方改革をさらに進めていく必要がある。管理職による在校時間の把握を徹底するとともに，組織体制の継続した見直しについても促していく。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	学校評価を活用し，組織の見直し等の改善を図った学校数	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	学校マネジメント講座の参加者数		6人

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：5校					小学校：10校 中学校：5校
	説明	全校が学校評価の結果を運営方法等の改善にいかしている。					
	評価	A					
②	実績	4人					10人
	説明	コロナ禍により，日程変更等はあったが，予定通りの内容で進行できた。参加者数を増やすため，より魅力的な講座となるよう改善を図っていく。					
	評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－1】　教員の資質・能力を高めます

取組の柱４	外部折衝力の向上
子どもたちがその地域に愛着や誇りを持てるように，学校は保護者や地域と連携し，教育活動に積極的に地域資源を活用していきます。そのために，教員は地域行事へ積極的に参加して地域住民との関係を深め，地域住民が学習活動へ参画できるよう企画・提案をしていきます。連携の推進役としての教員の力量をさらに高めることで，特色ある学校づくりをより充実させていきます。	

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	地域行事等への積極的参加の奨励	コロナ禍のため，地域行事等への参加が難しい状況だった。各学校では，学校だよりやブログ等を通して，地域との情報共有に努めた。					教員は，地域行事等への積極的な参加を通して，保護者・地域住民との関係を深めている。
	学校指導課	3					
2	授業や体験活動等における外部人材との連携の強化	小学校では地域学習が不可欠なため，感染防止対策を徹底した上で外部人材の活用が継続して行われた。中学校では感染防止対策を優先し，中止とした学校が多かった。					教員は，事前の打合せや事後の振り返りの方法を工夫して，外部人材との連携の強化を図っている。
	学校指導課	4					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		コロナ禍により地域行事等への参加が難しい状況だったが，感染状況を踏まえながら，地域との連携を深めていく効果的な方法について検討していく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	「地域の外部人材を活用した授業や行事等を実施したか。」という問いに，肯定的な回答をした学校数	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	地域と連携した取組を実施した教員の割合		－

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：２校					小学校：10校 中学校：５校
	説明	コロナ禍において，地域の外部人材の方にご協力いただくことが難しい場面も増えたため，特に，中学校3校では，肯定的な回答とならなかった。					
	評価	C					
②	実績	小学校：82% 中学校：25%					小学校：100% 中学校：100%
	説明	小学校では，授業のゲストティーチャーや校外学習のお手伝い等の連携が多かった。中学校では，コロナ禍で連携が困難だった状況が見られた。					
	評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－2】　開かれた学校づくりを進めます

取組の柱1	家庭・地域との連携の推進

「社会に開かれた教育課程」を目指し，家庭・地域との共通理解を深めるため，各学校の教育活動の意義や意図をわかりやすく家庭・地域に示していきます。また，保護者や地域住民が積極的に学校運営や学習活動に参画できる環境や仕組みの整備にも取り組んでいきます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和2年度～5年度）・達成状況（令和6年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和2年度	～令和3年度	～令和4年度	～令和5年度	～令和6年度	到達目標
1	地域の特色をいかした小・中連携教育の推進	コロナ禍にあったが，挨拶運動を行ったり，書面での情報共有を図ったりと中学校区ごとの実態に応じた特色ある取組を進めることができた。					学校は，地域の特色をいかした取組を進めながら，中学校区全体で，地域との連携を強化している。
	学校指導課	4					
2	コミュニティ・スクール協議会，学校運営協議会の活性化	11月の教育7DAYSに合わせ，コミュニティ・スクールフォーラムを実施した。コロナ禍のため，会場の人数制限があり，一部の関係者のみの参加となった。当日は，教員とコミュニティ・スクール関係者合わせて，約50名の方に参加いただいた。					学校は，コミュニティ・スクール協議会や学校運営協議会の活性化を図り，保護者及び地域住民の学校運営への参画を推進している。
	学校指導課	4					
3	学校情報の発信の充実	コロナ禍により，SNSを通じた情報発信の機会が大幅に増加した。GIGAスクール構想をいかし，教育活動の様子等を発信する方法を検討していく。					学校は，日常の教育活動の様子等に加えて，その意義や意図について，学校だよりやSNS等を活用して定期的に発信している。
	学校指導課	5					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		コミュニティ・スクールの導入校拡充を図るため，教育7DAYSのコミュニティ・スクールフォーラムを活用し，現導入校の成果等を発表する機会を設定する。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	小・中連携教育の取組を実施した学校数	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	SNS等を活用した発信を年間35回以上行っている学校数		－

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
①	実績	小学校：10校 中学校：5校					小学校：10校 中学校：5校
	説明	中学校区ごとに，テーマを決めて，研究授業や研修会を実施した。テレビ会議システムを活用して会議を行った中学校区もあった。					
	評価	A					
②	実績	小学校：10校 中学校：5校					小学校：10校 中学校：5校
	説明	コロナ禍における学校の取組等について，SNSを活用して発信する機会が多くなり，全校が年間35回以上の更新を行っていた。					
	評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－3】　学校環境を整えます

取組の柱1	施設整備の推進
子どもたちが安心して快適に学校生活を送れるように，令和元年度に策定した『国分寺市学校施設長寿命化計画』に基づき，ユニバーサルデザインの視点を取り入れ，適切な改修及び改築を進めます。 また，子どもたちの学習に対する意欲や興味・関心を高めるとともに，学校における働き方改革の推進に向けて，ICT環境の整備を更に進めます。	

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和2年度～5年度）・達成状況（令和6年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄）					到達目標
		令和2年度	～令和3年度	～令和4年度	～令和5年度	～令和6年度	
1	『学校施設長寿命化計画』の推進	コロナ禍にあったが，『学校施設長寿命化計画』に基づき第六小学校大規模改造工事（その1）及び第二中学校屋内運動場大規模改造工事（その1）を実施した。なお，当該計画に位置付けられている第七小学校大規模改造工事（その1）については，令和3年度の実施へ変更した。					学校では，『国分寺市学校施設長寿命化計画』に基づき，安全で良好な学習環境が整備されている。
	教育総務課	4					
2	快適な学校生活に向けた施設の整備	トイレの改修を第一・二・三中学校において，体育館の空調設置を第二・三・四小学校及び第二・三・四・五中学校においてそれぞれ実施した。更に，LED照明への更新を第一小学校（校舎・体育館），第五小学校（校舎・体育館）及び第四小学校（体育館）において実施した。 いずれも計画どおり整備を進めた。					学校では，トイレ改修や体育館空調設備の設置，照明のLED化等，快適な学校生活に向けた学校設備の整備が進んでいる。
	教育総務課	5					
3	ICT環境整備の充実	GIGAスクール構想によるICT環境の整備の前倒しにより，非常にタイトなスケジュールのなか，児童・生徒1人1台の端末の導入と，普通教室，特別教室等において高速・大容量のインターネット及び無線LANの敷設等を行った。					学校では，『国分寺市学校教育ICT環境整備計画』等に基づき，ICTの環境整備が進められている。
	教育総務課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		今後も学校施設長寿命化計画を軸に学校の改修等を行っていくが，コロナ禍による状況の変化なども踏まえつつ，慎重に進めていく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	年度当初計画した施設整備が完了した学校の割合				現状値（令和元年度）	100%
成果指標②	『国分寺市学校教育ICT環境整備計画』に基づく目標を達成した事業					小中学校のプロジェクター及び教師用PCの整備並びに教室で使用する小学校児童用PCの整備について，完了している。

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	100%					100%
	説明	学校，緑と建築課及び事業者との適切な情報共有による整備の円滑化によって，計画していた工事や修繕は，すべて完了した。					
	評価	A					
②	実績	達成					達成
	説明	計画上の位置付けを上回る整備を前倒しで行い，端末の児童・生徒への１人１台の配備と，普通教室，特別教室等への高速・大容量のインターネット及び無線LANの敷設等を短期間で実施した。					
	評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅱ　学校教育環境の充実

【Ⅱ－3】　学校環境を整えます

取組の柱2	安全・安心な環境の充実

子どもたちが安全・安心な環境の中で学校生活が送れるように，自ら学ぶ機会を確保し，地域や保護者，警察，消防署等と連携し，通学路等の安全確保に努めます。
学校給食においても，無添加食品や地場産野菜等を使用するとともに，食物アレルギー対応ではマニュアル等を活用しながら，事故の発生を防ぎます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和2年度～5年度）・達成状況（令和6年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和2年度	～令和3年度	～令和4年度	～令和5年度	～令和6年度	到達目標
1	地域や保護者と連携した防災・防犯対策の充実	全市立小学校において，通学路の安全点検を学校やPTA，警察等と協力し行った。各部署等において改善要望個所を把握し，今後の対応にいかすことができた。					教育委員会では，学校，保護者，地域，警察，消防署等と連携し，事故や災害等に巻き込まれることがないよう，子どもたちの安全を確保している。
	学務課	5					
2	質の高い学校給食の推進	給食食材は，従前より無添加のものを使用し，安心・安全な給食提供に努めている。また，農業者と連携し，地場産野菜を積極的に使用した。					学校は，献立の改善や地場産野菜の使用等により安全・安心で質の高い学校給食を提供している。
	学務課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		通学路の交通危険個所の点検については，学校，保護者，警察や地域等と継続して取り組んでいく。学校給食については，地場産野菜を少しでも多く使用していくよう努める。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	保護者，学校，市，警察等と協力し通学路点検を行った学校数	現状値（令和元年度）	10校
成果指標②	小学校給食の残菜率		6.1%

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
①	実績	10校					
	説明	各学校の保護者と学校，市，警察等と一緒に通学路を巡回し登下校時の危険個所の点検を行った。					10校
	評価	A					
②	実績	3.9%					
	説明	コロナ禍により，密をさけるため，教員が配食しやすい献立で提供した。また，黙食のため食事に集中できた。					6.1%
	評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅲ　社会全体の教育力の向上

【Ⅲ－１】　誰もがいつでも学べる学習機会を充実させます

取組の柱１	多様な学びの提供
子どもから高齢者まで幅広い年齢層に対応するほか，障害のある方，子育て中の方，母国語が日本語でない方など，すべての市民が地域の中で学ぶことができる環境を整備します。 また，地域における課題解決に向けた学習環境の整備や，郷土を知るための学びの提供を図ります。学習以外にも体験から得られる学びのために，自然体験や様々な活動の場を提供します。	

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄） 及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄）					到達目標
		令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	
1	多様な学習機会・支援の充実	社会教育課では，大人版宇宙の学校はコロナ禍のため施設見学を中止したが，受講者が学んだ内容を子どもに伝えられるよう，教材紹介を取り入れて講座を実施し，延べ32名が参加した。 公民館では，市民の学習の充実のため96事業企画したが，27事業中止し，一部実施も含めて69事業を実施した。 図書館では，定例のおはなし会は実施を見送ったが，全館で「スペシャルおはなし会」（５回），保育園への「出前おはなし会」（３回）の事業を実施した。また，休館期間中であっても児童書３冊を詰めた「としょかん福袋」の貸出等工夫をし，子どもたちの学びの環境の確保に努めた。					市民が地域の中で学ぶことができる環境が整備されている。
	社会教育課，公民館課，図書館課	3					
2	地域の課題等の解決に向けた学習の充実	公民館は，地域課題解決に向けた「地域づくり講座」を４館で８事業実施した。 図書館は，利用者からの問い合わせに関し，適切にレファレンスサービスを実施した。					市民に地域の課題等の解決を図るための講座等の機会が提供されている。
	公民館課，図書館課	3					
3	体験学習の推進	コロナ禍でも実施可能な事業を以下のとおり実施した。 社会教育課は，わんぱく学校を青少年地域リーダー講習会と組み合わせて実施した結果，参加児童が青少年地域リーダー講習会へ参加意向を示すなど地域の担い手としての成長がみられた。27人参加した。 公民館は，地域の特性をいかした農業体験講座など，自然体験をはじめ様々な体験学習の場を23事業企画し，18事業実施し５事業中止した。					市民に体験から得られる学びのための自然体験や様々な活動の場が提供されている。
	社会教育課，公民館課	4					
評価の平均値		3				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		緊急事態宣言下で中止又は延期の状況が続いたため，接触や密集等を避け，コロナ禍でも実施可能なプログラムを時期やリモート開催等の方法を含め検討し，実施していく。 また，「おはなし会」など中止した事業に替わる場を企画・実施する。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①		公民館課・図書館課・社会教育課主催事業参加者数				現状値（令和元年度）	27,257人
成果指標②		図書館貸出冊数					711,530冊
年度		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	7,478人					30,000人
	説明	社会教育課は，受講者が子どもへ伝えられる内容で大人版の宇宙の学校を実施し，延べ32人（目標約50人）が参加した。 公民館は，実施できなかった事業が多く，参加者数は前年度の約半数以下となり，7,232人が参加した。 図書館は，スペシャルおはなし会，一日図書館員，託児保育等の事業を実施し214人参加した。					
	評価	B					
②	実績	659,909冊					1,000,000冊
	説明	予約図書貸出の実施などにより，長期の臨時休館にもかかわらず，資料の貸出数は前年度に比べ7％（5万1千件）の減にとどまった。					
	評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅲ　社会全体の教育力の向上

【Ⅲ－１】　誰もがいつでも学べる学習機会を充実させます

取組の柱2	自主的な学びの支援
誰もがいつでも自主的に学習し，ともに育ち合うことができるように，学習や活動を支援します。 また，ホームページ等により，講座，グループ活動，人材バンク登録等の情報の提供を図り，新たな人的資源の活用及び自主グループの支援を推進します。その他，グループとの協働事業や，講演会・講習会を通して，市民がつながる学ぶ場の拡充を進めます。	

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	自主グループ活動支援の推進	公民館は，コロナ禍においても1,305団体の自主グループの学習・活動支援を実施した。 図書館は，「スペシャルおはなし会」や地域文庫等と共催の講座や講演会を開催し，団体の活動を支援した。					社会教育施設における自主的な学習や文化活動に対する支援を行うことで，グループ活動が充実している。
	公民館課，図書館課	3					
2	情報の提供と活用の推進	図書館は，新刊資料の情報や各月の展示及びイベントについて図書館ホームページ，ツイッターを通じて情報提供を行った。 社会教育課のグループサークルは，ひかりプラザ窓口にて積極的に情報提供を行ったため，110団体（令和元年度76団体）が登録した。					市民に必要な情報が提供され，様々な学習・文化活動に活用されている。
	図書館課，社会教育課	4					
3	ともに学ぶ機会の拡充	公民館は，グループとの協働事業を24事業企画し，９事業実施した。 図書館は，提案型協働事業として子育て中の方が図書館でゆっくり本に触れ自分の時間を過ごすことができるよう託児サービスを実施し，利用者同士の交流も生まれ，利用者から高い評価が得られた。 社会教育課は，東京経済大学の授業を受講できる特別科目聴講制度を後期のみ実施し，10人が参加した。					社会教育施設では，グループとの協働事業等を通して，市民同士の交流が図られている。
	公民館課，図書館課，社会教育課	3					
評価の平均値		3				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		対面・オンラインを活用し，利用団体の学習や活動発表の場を確保し，また，従来以上に利用しやすい事業実施の方法を検討する。 図書館が提案型協働事業として実施した「託児事業」を直営で継続し，引き続き学びの支援や機会の充実を図る。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	公民館利用団体数及びグループ登録数				現状値（令和元年度）	1,828団体
成果指標②	図書館ホームページアクセス数					587,987件
年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
① 実績	1,305団体					2,000団体
① 説明	コロナ禍での臨時休館等の影響が大きい中，1,305団体が利用した。					
① 評価	C					
② 実績	551,524件					850,000件
② 説明	感染防止対策による長期休館の中，アクセス数は前年度に比べ６％の減にとどまった。					
② 評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅲ　社会全体の教育力の向上

【Ⅲ－１】　誰もがいつでも学べる学習機会を充実させます

取組の柱3	学習環境の整備
高度情報化社会への対応や，学習，活動の場，市内開催の事業等の必要な情報を市民に届けることができるようにするため，情報の発信及び収集の環境整備に努めるとともに，人と人とがつながりを持てる地域の拠点としても環境整備を行います。	

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	学習や活動に関する情報発信の拡充	図書館は，各月の展示やイベント情報をツイッターを活用したSNS配信等により，図書館情報の提供と利便性の向上を図った。 公民館は，ホームページ（アクセス数9,323件），公民館だより「けやきの樹」（アクセス数1,625件）及びツイッター（月平均アクセス数18,732件）を活用し，情報発信を行った。 社会教育課は，人材バンクをホームページや市報を通じて登録者を募集し，26人（令和元年度23人）が登録した。					社会教育施設では，従来の情報提供に加え，ＳＮＳの配信等の新たな情報提供により，市民の情報量の拡大と利便性の向上が図られている。
	図書館課，公民館課，社会教育課	4					
2	持続可能な学習環境の充実	公民館事業運営スタッフとして，くぬぎ教室や生活日本語スタッフを確保し人員体制を強化することで利用者支援の充実を図った（登録者74人）。また，部屋の確保をすることで利用者の学習環境を整えた。					公民館では，ソフト面，ハード面における学習環境が整備されることで，市民の持続可能な学習の充実が図られている。
	公民館課	4					
3	ICTを活用した環境整備の推進	本多公民館（４か所）及びひかりプラザ（２か所）に公共無線LANを設置した。 図書館は，国立国会図書館デジタルコレクションを閲覧する端末を設置し，同図書館のデジタル化資料のうちインターネットに公開されていない約150万点の貴重な資料からも情報を入手できる閲覧サービスを新たに開始し（利用件数48件）利便性の向上を図った。					社会教育施設では，公共施設予約システムの充実や無線ＬＡＮなどの環境整備を進めることで，効果的に必要な情報を収集することができ，市民の利便性の向上が図られている。
	公民館課，社会教育課，図書館課	4					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		情報発信については引き続きSNSやホームページを活用する。 公共無線LANが社会教育活動に活用されるようPRする。 感染防止対策も含め，オンライン・リモート環境の整備が課題である。ＩＣＴを活用したサービスや，オンライン・リモート環境を充実し，学習環境を整備する。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	公民館でのオンライン講座参加者数				現状値（令和元年度）	0人
成果指標②	図書館ボランティア活動時間数					410時間
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
① 実績	285人					300人
① 説明	各公民館でオンライン講座を実施し，事業・参加者数は以下のとおりであった。本多2事業71人，恋ケ窪1事業20人，光 2事業79人，もとまち3事業 88人，並木1事業27人。					
① 評価	B					
② 実績	625時間					1,000時間
② 説明	ボランティアの対象年齢を18歳から中学生以上に引き下げたため，高校生の参加があった。コロナ禍でも前年度比52.4%増となった。					
② 評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅲ　社会全体の教育力の向上

【Ⅲ－2】　地域における学びの循環を推進します

取組の柱１	学校・家庭・地域との連携
学校や社会教育施設が家庭・地域と連携を図り，市民と行政の協働による事業や市民とのつながりを深める事業を行うことにより，子どもから大人まで相互に学び・育ち合うことができる，地域の特徴をいかした持続可能な地域づくりを推進します。	

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄）					到達目標
		令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	
1	地域で学び合う機会の創出	社会教育課は，市民大学講座の開催時期，方法など検討を重ねてきたが，会場以外での実施が困難となり，感染防止対策として中止した。 公民館は，企画した学習支援事業ジュニアサロンやＰＴＡ連合会との連携事業「教育講座」はすべて中止した。 図書館は，コロナ禍のため事業の企画を行ったが，実施はできなかった。					市民に学校等との連携により，多様な学習機会が提供されている。
	社会教育課，公民館課，図書館課	2					
2	交流活動・協働事業の推進	公民館は，学習機会の充実及び地域の課題解決のため，地域で活躍するボランティア同士の交流や地域会議など24事業企画した。感染防止対策として15事業を中止したが，９事業実施できた。 図書館は，市民団体主催の「ぶんぶんウォーク・ブックタウンプロジェクト事業（本を介して市民が繋がることを目的とした事業）」において，主催団体と本多図書館・本多公民館の協働で「ビブリオバトル」を実施した。また，子育て中の方が図書館でゆっくり本に触れ自分の時間を過ごすことができるよう託児サービスを実施し，利用者同士の交流も生まれ，利用者から高い評価が得られた。					社会教育施設では，各団体等の協働により，地域の特色をいかした学習活動が効果的・効率的に推進されている。
	公民館課，図書館課	3					
3	学校施設を活用した地域づくりの推進	社会教育課は，放課後子どもプランの日数増加や様々な体験活動が実施できるよう第一小学校及び第二小学校に各校支援のための拠点づくりを進めた。学校キャンプは地域主催に移行し，市は支援を行った。感染防止対策を行いながら4校で実施できた。 公民館は，「二中生に習う初級パソコン教室」等の学校施設を活用した事業は，感染防止対策のため実施できなかった。 図書館は，学校施設を活用した事業は実施できなかった。					学校施設では，子どもたちの放課後の居場所として地域の力を活用し様々な体験活動が行われている。大人から子どもまでが学びを通し集まることで地域のつながりが深まり，地域づくりが推進されている。
	社会教育課，公民館課，図書館課	3					

評価の平均値	3				次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性	社会教育課は，放課後子どもプランを，第一小学校及び第二小学校のプラン室を中心に放課後全校で様々な学びや体験ができるよう取り組む。学校キャンプは各校の実行委員会がスムーズに実施できるよう支援を行う。 公民館は，感染防止対策も含め，オンライン・リモートの活用により，学校・家庭・地域との連携事業を推進していく必要がある。 図書館は，継続して地域との連携を図り，地域図書館や市民の読み聞せグループとの共催・協働による事業を実施する。				

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	学校との連携事業数				現状値（令和元年度）	30事業
成果指標②	家庭・地域との連携事業数					24事業
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
① 実績	10事業					30事業
① 説明	社会教育課は，学校キャンプを地域主催に移行した。放課後子どもプランはコロナ禍でも感染防止対策をしながら，遊びの場，学びの場，体験の場を全10校計576日実施した。 公民館は企画していた事業をすべて中止した。					
① 評価	C					
② 実績	12事業					30事業
② 説明	感染防止対策で中止した事業もあったが，公民館では地域課題解決に向けた「地域づくり講座」を実施することができた（6事業）。 図書館では地域文庫や読み聞かせグループとの共催で「スペシャル読み聞かせ会」や講演会を開催した（6事業）。					
② 評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅲ　社会全体の教育力の向上

【Ⅲ－2】　地域における学びの循環を推進します

取組の柱２	学びをいかす機会の創出

市民が学習した成果を発表する機会をつくり，その学びが社会から認められ生きがいを感じられるように支援していきます。そして，市民の学習成果が地域に還元され，互いに学ぶことができる，循環型の学習環境の整備を進めます。
また，コミュニティの活性化を図るために，自ら学び考え行動する，地域活動を担う市民の育成を目指します。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	学習成果の活用	公民館は，グループ活動の成果を展示・発表する機会となる公民館まつり等は感染防止対策により実施できなかった。 図書館は，例年各小学校が実施している社会科見学の一つである図書館見学は中止したが，代わりに図書館施設の調べ学習（四小）に協力し，子どもたちが作成した新聞を図書館に展示した。また，中学校（五中）図書委員のおすすめ本に，図書委員が作成したPOPを添えて，図書館で展示し，学習成果を発表する場を提供した。					市民の学習成果発表の機会が広くつくられるとともに，市民の学習活動が地域に還元され，学びが循環している。
	公民館課，図書館課	3					
2	地域活動の担い手の育成	公民館は，「支援者研修・障害を理解する講座」を４回企画した。感染防止対策のため，１回中止したが，延べ62人が参加した。 社会教育課は，青少年地域リーダー講習会の参加者が毎回自ら目標をたて，振り返りを行う等プログラムの工夫を行った結果，言動などから１年を通して参加者の成長がみられた。定員20人中13人参加した。プレイリーダー講習会は，自らが子どもの視点を持てるよう，遊びの体験を行い振り返りを行うプログラムを実施した。定員60人中45人参加した。					社会教育施設では，地域活動の担い手となる人材の発掘と育成が推進されている。
	公民館課，社会教育課	3					
評価の平均値		3				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		社会教育課は，青少年地域リーダー講習会をわんぱく学校と共同開催し，青少年地域リーダー講習会にわんぱく学校卒業生をつなぐ取組を継続する。 公民館は，感染防止対策も含め，オンライン等を活用し，学習や活動の発表の場の確保を図るとともに地域活動の担い手の育成事業についても実施していく必要がある。 図書館は，子どもたちの学習や読み聞かせグループなどの市民の活動を支援するとともに，学習成果の展示や活動成果の発表機会を創出していきます。						

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	市民が学んだ成果を地域でいかした事業数				現状値（令和元年度）	29事業
成果指標②	地域活動の担い手育成事業受講者数					67人
年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
① 実績	４事業					35事業
① 説明	公民館は，感染防止対策のためグループ活動の成果を地域に還元する事業を実施することができなかった。 図書館は，社会科見学の代わりに小学校（四小）の授業で図書館施設の調べ学習を実施し，作成した新聞を図書館に展示した。また，中学校（五中）図書委員へのアンケート結果から得られたおすすめ本に図書委員が作成POPを添えて図書館に展示を行った。					
① 評価	C					
② 実績	120人					75人
② 説明	社会教育課は，青少年地域リーダー講習会をわんぱく学校と共同開催することでよい成果を上げており，積極性が高まったり，スピーチできる時間が長くなるなど，受講生の言動から地域の担い手としての成長がみられた。 また，プレイリーダー講習会は受講者が遊び体験を通して子どもの立場になって危険予知等を学んだ（令和３年度から子ども家庭部子ども子育て事業課へ事務移管した）。 図書館は，地域活動を担う市民の育成につながる「読み聞かせ講習会」はコロナ禍により実施できなかった。 公民館は，「支援者研修・障害を理解する講座」を３回実施した。					
② 評価	A					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅳ　歴史遺産をいかした学びの推進

【Ⅳ－１】　文化財に対する理解を深めます

取組の柱１	文化財普及事業の推進

市民の文化財愛護に対する気持ちが育まれ，国分寺に住んでいることへの誇りと郷土愛を持つきっかけとなるよう，市の歴史や文化財に触れる機会の充実を図るとともに，市の歴史に関する様々な情報を積極的に提供していきます。
また，子どもの頃から市の歴史や文化財に触れることは，我がまちを理解し，愛する心が芽生え，そして大人になっても，「ふるさと」としての思いが育まれるため，学校教育における文化財の活用を推進します。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	文化財に触れる機会の拡充	コロナ禍により多くの事業を中止した。感染症予防対策を施して，瓦等のレプリカ作成(17人)，子ども歴史クイズラリー(19人)，都立武蔵国分寺公園と連携してディスカバリーワードラリー(139人)を実施した。					文化財普及イベント・展示等の実施，及びそれらを適切に広報することにより，文化財に触れる機会が拡充されている。
	ふるさと文化財課	4					
2	市の歴史に関する情報提供の推進	武蔵国分寺跡資料館だより等の発行やホームページ等を通じて，情報提供を推進した。コロナ禍の新たな取組として，ホームページに「おうちミュージアム」を開設し，家庭で文化財に親しみ，楽しめる取組を提供した。					歴史講演会，歴史講座等の実施，及びそれらを適切に広報することにより，国分寺市の歴史と文化が継承されている。
	ふるさと文化財課	4					
3	学校教育での文化財活用の推進	コロナ禍により市立小学校10校中２校の社会科見学の受け入れを実施した。残り８校の６年生に見学のしおりを配布し，国分寺の歴史や文化財について周知を図った。					市立小・中学校全校で校外学習や郷土史学習等の授業において文化財が活用されている。
	ふるさと文化財課	2					
評価の平均値		3				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		コロナ禍により普及に関するイベントの多くが中止となった。今後は，様々な工夫を凝らした取組を行うことで，学ぶ機会を提供し文化財に対する理解の促進を図っていきたい。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	文化財展示施設入館者数［武蔵国分寺跡資料館，文化財資料展示室，民俗資料室の年間合計入館者数］	現状値（令和元年度）	16,995人
成果指標②	市内小・中学校に対して史跡等の文化財に関する学習支援を行った件数		12件

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	10,936人					18,000人
	説明	2か月間（４・５月）の休館があったが，武蔵国分寺跡資料館，文化財資料展示室，民俗資料室の入館者はそれぞれ9,085人，13人，1,838人となった。					
	評価	B					
②	実績	5件					17件
	説明	市内の市立小学校２校（233人）と中学校２校（37人），私立中学校１校（34人）が校外学習に訪れ，学習支援を行った。					
	評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅳ　歴史遺産をいかした学びの推進

【Ⅳ－１】　文化財に対する理解を深めます

取組の柱２	市民による文化財の保護・普及の促進
多くの市民が文化財愛護の気持ちを持ち，文化財の保護や普及に関わるボランティア活動に参加してもらうため，活動に必要な知識・技能及び活動の機会を提供するなどの支援を行います。	

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	ボランティア活動支援の充実	コロナ禍によりボランティア養成講座や年３回のボランティア懇談会を中止した。発掘ボランティアとして遺跡の発掘調査や出土品遺物の整理作業等の活動の場の提供を図った。					ボランティア養成講座及びフォローアップ研修等の実施により，ボランティア活動の支援が充実している。
	ふるさと文化財課	4					
2	ボランティアによる文化財普及活動の拡充	コロナ禍により多くの普及イベントを中止したため，ボランティアによる文化財普及活動の拡充は図れなかった。					文化財普及イベント・展示等の準備・実施にボランティアが参加し，文化財普及活動が拡充している。
	ふるさと文化財課	1					
評価の平均値		3				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		コロナ禍により，ボランティア活動に大きな影響がでた。今後は感染防止のための安全対策等を徹底してボランティア活動の支援を行う必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	ふるさと文化財愛護ボランティア（史跡ガイド，普及，調査，発掘）活動人数（延べ）	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	ふるさと文化財愛護ボランティアの関わる活動事業数		10事業

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	73人					120人
	説明	発掘ボランティアとして73人が活動した。					
	評価	B					
②	実績	２事業					15事業
	説明	10事業を予定していたが，コロナ禍のため発掘調査と出土品遺物の整理の２事業のみの実施した。					
	評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅳ　歴史遺産をいかした学びの推進

【Ⅳ－２】　文化財の調査・保存・活用を進めます

取組の柱１	文化財の調査・研究の推進

国分寺の地下に眠る古い歴史の痕跡についての究明を進めるため，市内の埋蔵文化財包蔵地や国指定史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡の発掘調査や研究を行います。
また，所有者の理解と協力を得て，知られていない文化財の把握に努め，その文化財の持つ歴史的背景や価値について調査や研究を行います。
これらの調査・研究の成果は，学術報告書として刊行し，公開します。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	埋蔵文化財調査の推進	発掘調査は市内15地点で実施し，令和元年度の調査成果は概報を刊行して公表した。					埋蔵文化財調査の結果を基に成果がまとめられ，当時の様相の解明が進んでいる。
	ふるさと文化財課	4					
2	総合文化財調査の推進	本多八幡神社所蔵の神輿について新規に重要有形民俗文化財として指定した。また，コロナ禍のため，調査の聞き取りに時間を要したが，予定していた建造物悉皆調査を実施した。					文化財の把握のための調査が進み，歴史遺産である文化財の保護が図られ，歴史的・学術的価値が高い文化財の市指定が促進されている。
	ふるさと文化財課	4					
評価の平均値		4				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		市内に所在する文化財の調査を平成26年度より継続的に実施。調査中の文化財もあるが、調査済の成果を報告書としてまとめる必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	令和２年度から令和６年度までの各種調査の成果報告書刊行数（①埋蔵文化財発掘調査報告書，②古文書目録，③民具・建造物等文化財調査報告書，④史跡武蔵国分寺跡調査報告書）	現状値（令和元年度）	－
成果指標②	総合文化財調査（文化財の所在及び現状把握）に伴う目録登載数		0件

	年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
①	実績	3冊					5冊
	説明	・埋蔵文化財調査概報 ・武蔵国分寺跡（僧寺地区）保存整備事業報告書 ・史料目録					
	評価	B					
②	実績	0件					累計50件
	説明	調査後の目録候補のリストを作成したが，登載までの精査に至っていない。また，建造物の調査(1,200件)を実施した。					
	評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅳ　歴史遺産をいかした学びの推進

【Ⅳ－2】　文化財の調査・保存・活用を進めます

取組の柱2	文化財の保存・活用の推進

市に残されている多くの文化財を後世に伝えるため，現在保管している出土品等の再整理や新たな保管庫の確保などにより，文化財の保管環境の改善を図ります。
また，市民の文化財に対する理解を深めるようにするため，保管されている文化財の公開を行うなど，文化財の活用を図ります。
個人や法人所有の文化財の活用についても，所有者の理解と協力を得られるよう努めます。

5年間の達成状況評価

1　主要施策の進捗状況（令和2年度～5年度）・達成状況（令和6年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和2年度	～令和3年度	～令和4年度	～令和5年度	～令和6年度	到達目標
1	指定重要文化財の保存・公開活用の推進	恋ヶ窪村分水に関して啓発用のパンフレットを作成した。また，長屋門2階において重要有形文化財（国分寺村古絵図）を展示し市民への文化財への関心を高めた。真姿の池の水質保全のため，所有者の協力のもと修繕を行い，保存管理を行った。					指定重要文化財を適正に保存・管理し，来訪者が歴史に親しみ関心を持つきっかけとなるよう指定重要文化財の公開活用が図られている。
	ふるさと文化財課	4					
2	文化財の公開展示の充実	常設展に加えて企画展（玉川上水と国分寺-恋ヶ窪村分水から見る水の変遷-）を実施し，充実を図った。また，コロナ禍のため，市内公共施設での展示は制限されたが，人権平和課の戦争に関するパネル展示に協力するなど，他課との連携による公開展示を実施した。					市施設による企画展等の実施，及びそれらを適切に広報することにより，公開展示が拡充・充実している。
	ふるさと文化財課	4					
3	出土した埋蔵文化財の保存環境の整備	史跡地内にある文化財保存施設（白テント）の出土品（3,000箱）を友好都市鳩山町の施設を借りて移設し，適正な管理を図った。また，移設後に史跡地内の文化財保存施設（白テント）を除却し，整備した。					出土品の再整理等が行われ，適正な管理が図られている。
	ふるさと文化財課	4					
評価の平均値		4					次期教育ビジョンへの方向性
課題及び今後の方向性		新たな保管場所の確保が喫緊の課題となっている。既存の出土品の再整理等の必要性はあるが，現状は難しい状況のため，時間をかけて整理を進めていく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和6年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

2　成果指標の達成状況評価

成果指標①	市内公共施設や文化財展示施設での展示等を実施した回数〔展示箇所：①武蔵国分寺跡資料館，②民俗資料室，③文化財展示室〕	現状値（令和元年度）	13回
成果指標②	文化財の保管環境の整備・再整理件数〔整理箇所：①武蔵国分寺跡資料館附属棟，②民俗資料室，③文化財倉庫，④第一中学校敷地内，⑤鳩山町タウンセンター〕		1か所

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	目標値
①	実績	5回					15回
	説明	①②③で常設展を実施した。①では秋季に企画展，また，人権平和課事業に協力し，戦争に関するパネル展示を行った。					
	評価	C					
②	実績	3か所					5か所
	説明	③の倉庫内を整理し白テントを除却，④の収蔵施設を覆っているカバーの応急措置，⑤の施設に3,000箱を保管した。					
	評価	B					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

施策の方向性Ⅳ　歴史遺産をいかした学びの推進

【Ⅳ－２】　文化財の調査・保存・活用を進めます

取組の柱３	史跡の保存・整備・活用の推進

市名の由来となっている史跡武蔵国分寺跡などの歴史遺産を大切に保存し，後世に継承するため，歴史公園として整備するとともに，市民が史跡に触れることができる憩いの場や歴史学習の場となるよう活用を図っていきます。

５年間の達成状況評価

１　主要施策の進捗状況（令和２年度～５年度）・達成状況（令和６年度）評価

No.	主要施策（上欄）及び主管課（下欄）	取組状況（上欄）及び評価（下欄） 令和２年度	～令和３年度	～令和４年度	～令和５年度	～令和６年度	到達目標
1	史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路の保存・活用の推進	コロナ禍において，歴史学習の場としては，市内の小中学校５校が訪れた。保存管理団体として現状変更行為の監視を行い，適切に管理を行った。また，整備完了記念シンポジウムの記録集「史跡を使いたおせ！」を発行し，史跡地の活用に関して周知を図った。					史跡地の管理が適切に図られるとともに，歴史学習の場や観光資源として史跡地が活用されている。
	ふるさと文化財課	4					
2	史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路の公有化の推進	民有地１件，土地開発公社からの買い戻し４件の買収を行った。国庫補助金の追加補助により，当初予定した以上の土地開発公社からの買い戻しを実施した。					計画的かつ緊急時での買取が適切に進められている。
	ふるさと文化財課	5					
3	史跡武蔵国分寺跡保存整備事業（僧寺地区）の推進	コロナ禍であったが，中門東側の芝生化（約300㎡）や避難看板等の撤去，遺構の案内板の設置等予定した期間内に実施した。					保存整備が計画に基づいて進み，市民の憩いの場としての活用が図られている。
	ふるさと文化財課	5					
評価の平均値		5				次期教育ビジョンへの方向性	
課題及び今後の方向性		令和４年度以降，南門地区，北方・推定中院地区，塔地区について順次整備を着実に進めていく必要がある。					

●進捗状況を最終年度を除く各年度終了後に評価⇒　5:順調に進んでいる　4:概ね順調に進んでいる　3:やや遅れている　2:遅れている　1:実績なし
●達成状況を最終年度（令和６年度）終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

２　成果指標の達成状況評価

成果指標①	史跡武蔵国分寺跡の整備完了面積				現状値（令和元年度）	42,153㎡
成果指標②	歴史公園（①武蔵国分寺尼寺跡，②武蔵国分寺跡北方地区，③僧寺北東地域，④国分寺崖線下地域，⑤僧寺中枢地域）使用許可数					29件
年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値
① 実績	42,493.8㎡					64,385㎡
① 説明	中門東側一角の整備（340.8㎡） ・公園管理用車両の進入口設置 ・「広域避難場所」看板の建替等					
① 評価	B					
② 実績	12件					50件
② 説明	・減免対象　8件 ・有料　4件					
② 評価	C					

●達成状況を各年度終了後に評価⇒　A:十分な成果を上げた　B:一定の成果を上げた　C:やや成果が上がらなかった　D:成果が上がらなかった

点検及び評価に関する
学識経験者からの意見

○出張（はり）　吉訓（よしのり）　氏（東京女子体育大学教授）

１．事務局からの説明

国分寺市教育委員会の令和２年度第２次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価にかかわる学識経験者として委嘱を受け，事務局から事業説明会資料に基づき説明を受けた。以下，各々の施策について意見を述べる。

日程：令和３年７月１日（木）

２．施策への意見

令和元年度で「第１次教育ビジョン」の実施期間が終了し，これまでの取組の成果と課題を踏まえ，新たな「第２次国分寺市教育ビジョン」を策定し，昨年度から「目指す学びのまちの姿」を目指し，コロナ禍の中で様々な施策を着実に実行してきていることが理解できた。

（１）施策の方向性Ⅰに対して

□２－２：持続可能な社会の創り手を育む教育の推進（P29）

Society 5.0 時代に生きる子どもたちにとって，学校のＩＣＴ環境を整備し，ＩＣＴ教育を推進していく必要がある。また，昨年から日本をはじめ世界にまん延している新型コロナウイルス感染症など，予測不可能な社会を生き抜いていく上でも，子どもたちの情報活用能力を育成していくことは重要である。このため，本市教育委員会では，令和２年度に市内の市立学校に通うすべての児童・生徒にタブレットを貸与する準備を行った。また，情報教育推進委員会で，各学校を支援するための児童・生徒用「タブレット活用のルール」や教職員用「１人１台端末活用推進スケジュール」を示すなどを行っており評価したい。

今後は，市内の学校の先進的な事例を収集し，他の学校へ情報提供するとともに，ＩＣＴ活用のための教員研修を実施し，学校への一層の支援をしていくことを期待する。

□３－２：健康・安全に生活する力の育成（P31）

児童・生徒が，食生活が自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動の上に成り立っていることを理解し，感謝の心を育むことは大切である。本市教育委員会では，コロナ禍で高級食材の消費が減少したことを生かし，和牛肉や愛媛産真鯛を給食として提供するとともに，給食委員会が新聞を作成するなどして，児童・生徒に食への関心を育んでおり評価したい。

今後も，児童・生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け，適切な栄養の摂取による健康の保持増進が図られるよう食育指導の充実を図ってもらいたい。

□４－１：特別支援教育体制の充実（P32）

発達障害のある生徒は，多数の学校に在籍しており，こうした生徒が抱える困難さに対応した特別な指導を受けられる体制を学校に整備する必要がある。本市教育委員会では，平成30年度に全小学校に巡回型特別支援教室を設置している。また，昨年度には，中学校における巡回型特別支援教室の設置に向けて検討を行い，「中学校版特別支援教室運営マニュアル」を作成し，中学校の教職員と保護者に対して説明会を実施するなど，丁寧な対応をしてきており，評価できる。

今後も，保護者の不安や疑問に応えながら，思春期の中学生が安心して利用できる工夫をしていくことを希望する。また，特別支援体制の充実のための教職員の増員も必要と考える。

□４－３：教育相談体制の強化（P34）

不登校児童・生徒数は，全国的に高い水準で推移しており，指導上の喫緊の課題である。本市教育委員会では，ひかりプラザ内にある適応指導教室「トライルーム」の利用者数の増加に伴い，本多公民館に「トライルームほんだ」を新設し，週２回の試行的運用を開始し，学校に登校でき

ない児童・生徒への対応を充実させてきており，評価できる。

今後とも，不登校児童・生徒の推移とトライルームの利用状況，様々なスタッフの配置など，総合的に検討されることを期待する。

（2）施策の方向性Ⅱに対して

□3－1：施設整備の推進（P40，41）

子どもが安心して意欲的に学習に取り組んでいくには，安全で快適な学習環境の整備が重要である。本市教育委員会では，第1次教育ビジョンに基づき，校舎などの大規模改修，トイレ改修などを着実に実施した。新しい第2次教育ビジョンでは，これまでの施策を継承し，熱中症対策として一部の小学校及び全中学校の体育館への空調設備の設置やＬＥＤ照明への更新などを行っており，評価したい。

今後，早期に全小学校の体育館への空調設備を設置するとともに，ＳＤＧｓの観点からも，全ての小学校と中学校への消費電力の少ないＬＥＤ化を推進していくことを強く期待したい。

（3）施策の方向性Ⅲに対して

□1－2：自主的な学びの支援（P45，46）

図書館では，コロナ禍の中でも地域の家庭文庫や地域文庫と協働・連携した「スペシャルおはなし会」，学校と連携した生活科や社会科の出前授業，図書館と学校司書・司書教諭との連絡会，乳幼児健診時の絵本リストの配布など，様々な事業を通して，子どもが読書に触れ，興味を持ち，読書の習慣が根付くよう努力されており，高く評価できる。

今後，若者への関心を高めるため，ホームページに加えインスタグラムを活用するなどして，積極的な情報提供を期待する。また，録音図書を導入し，聞く読書を検討してもらいたい。

□2－2：学びをいかす機会の創出（P51，52）

本市教育委員会では，地域活動の担い手を育成するため，青少年地域リーダー講習会やプレイリーダー講習会を実施してきている。「わんぱく学校」を卒業した中学生が，次のステップである「青少年地域リーダー」として育ってきていることは評価できる。また，保護者等の大人が「プレイリーダー」となり，自分の子どもだけでなく，他の子どもの見守りや指導を行うなど，子どもを取り巻くコミュニティが形成されていることも評価できる。

今後も，様々な講習会などを通して，地域コミュニティを活性化するとともに，地域活動の担い手の育成を推進されることを期待する。

公民館では，コロナ禍の中，市民のための地域づくり講座「くにきたミドルクラス」や「障害者支援ボランティア養成講座」など，各種文化事業などを実施した。「くにきたミドルクラス」では，活動を止めることなく，リモート開催などの工夫をされ，参加者の交流を図るとともに，グループ化が達成されており，評価できる。

今後も，リモートを活用した講座の実施など，これらの事業を継続・充実を図り，地域コミュニティの活性化を図るとともに，地域活動を担う市民を育成していくことを期待する。

（4）施策の方向性Ⅳに対して

□2－3：史跡の保存・整備・活用の推進（P57）

本市には，市名の由来となっている史跡武蔵国分寺跡などの歴史的遺産があり，これらの貴重な文化財を調査・保存し，広く公開していくことは重要である。現在，武蔵国分寺跡の公有化を約80%弱達成し，コロナ禍の中においても，歴史公園として市民の地域の歴史文化に触れられる憩いの場として着実に整備しており，評価したい。

今後，調査から分かった貴重な史跡に関するデータをバーチャル・リアルティ化し，本市の文化財を授業や観光資源として活用することを期待する。

○堀竹（ほりたけ）　充（みつる）　氏（前十文字学園女子大学教授）

１．事務局からの説明

国分寺市教育委員会の令和２年度第２次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価にかかわる学識経験者として委嘱を受け，事務局から事業説明会資料に基づき説明を受けた。以下，各々の施策について意見を述べる。

日程：令和３年７月１日（木）

２．施策への意見

（１）施策の方向性Ⅰに対して

□２－２：持続可能な社会の創り手を育む教育の推進（P29）

情報教育推進委員会により，児童・生徒用の「タブレット活用のルール」や教職員用の「１人１台端末活用推進スケジュール」が提示され，学校間での共通理解が図られた。学校によりタブレットの取扱いの違いが出にくくなり，保護者の信頼が得られると考える。また，教職員も安心して，活用の工夫ができると考える。

夏季休業中の研修では，授業における具体的なタブレットの活用方法を例示し，教職員の不安を払拭すると共に，さらにタブレット活用の意欲を高めてもらいたい。

研究授業で実際にタブレットを活用した授業を見ることで，授業での活用方法がよりイメージしやすくなり，意欲も高まると考える。ビデオに撮り，全教職員が目にすることができるような工夫をしてもらいたい。

□３－２：健康・安全に生活する力の育成（P31）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により，これまでにない和牛や真鯛を使用した給食メニューが登場した。児童・生徒が喜ぶだけでなく，給食委員会の活躍により，和牛についての理解が深まるなど，食育につなげる発想は評価したい。

農畜水産物の在庫が大幅に増加したため，国が学校給食等と連携した事業を実施し，その事業を活用して実現した給食だった。その経緯は，児童・生徒にも伝わっただろうか。コロナ禍にあって様々な分野の助け合いや協力がなされている様子を子ども達が知ることにより，自分の生き方や人としての在り方を考えるきっかけになると考える。また，国の施策の一つであることで，政治がより身近に感じられる機会でもある。静かに給食を食べる今，給食放送を活用して事実を伝えることにより，児童・生徒が多くのことを感じ取ってくれることを期待したい。

給食時に，３分程度の給食メニューに関する放送時間を設けると，食育の効果が期待できると考える。地域で採れた野菜や旬の食材，食物アレルギー，調理の工夫などについての話題を児童・生徒に提供することで，計画的な食育の推進が図れると考える。

□４－１：特別支援教育体制の充実（P32）

特別支援教育の考え方や指導方法は，日常の授業でも役立つことが多い。特別支援教育についての理解を深めれば，教職員の児童・生徒理解が深まり，学習問題の提示の仕方や板書の工夫，まとめ方など，授業改善に役立つことが期待できる。

□４－３：教育相談体制の強化（P34）

トライルームの利用者数の増加や児童・生徒の実情や思いに対応し，本多公民館での開室を試行し，利用した児童・生徒もいた。今後は現状を把握し，学習を支援する協力者を確保してもらいたい。

（２）施策の方向性Ⅱに対して

□３－１：施設整備の推進（P40，41）

学校体育館空調設備の設置は，熱中症対策とともに感染症対策にもなる。早めに対応できたことを評価したい。災害時における地区防災センターの機能向上としては，学校体育館のトイレ設備の充実も必要と考える。

学校施設のＬＥＤ照明への更新は，節電のみならず，地震時の安全対策にもなり，児童・生徒の安全性がより高まった。

（３）施策の方向性Ⅲに対して

□１－２：自主的な学びの支援（P45，46）

「第三次国分寺市子ども読書活動推進計画」に基づき，子どもが読書に興味を持ち，読書の習慣が根付くよう，地域で活動する家庭文庫・地域文庫との協働・連携がうまく機能し，成果が出ている。近くに読書を促す場があることで，子ども達たちが，本に興味を持つ機会が増えると考える。

年齢を考慮したブックリストや絵本リストは，本を読んでみようという思いを引き出すきっかけになったと考える。また，教科書に載っている作者の作品紹介リストがあると，読書への興味を持たせることができると考える。

□２－２：学びをいかす機会の創出（P51，52）

地域活動にはどのようなものがあるのか，その活動の意義や効果などは，広く市民に知られているのだろうか。リーダーが育てば地域活動が活発になるというものではなく，市民の思いとリーダーの活動は両車輪のように思う。市の広報紙やパンフレットなどを活用し，地域活動を宣伝するとともに，活動への参加を呼び掛けてみてはどうだろうか。市民全体で作る活動というスタンスが示されると，より身近なものに感じられ，地域活動への参加がしやすくなり，お手伝いしていこうという思いも強くなるのではないかと考える。

活動内容を広く市民に知ってもらう工夫が，大切だと考える。地域に広がる「緑のシェア」をきっかけに，人と人がつながる仕組みづくりは素晴らしい試みだと感じる。緑を守ることに興味を持つ人，自然の産物を利用して活動する人，憩いの場としておしゃべりを楽しむ人，参加するスタイルはそれぞれでも，ゆるく人々がつながる場があることは住みやすいまちづくりにつながると感じた。

（４）施策の方向性Ⅳに対して

□２－３：史跡の保存・整備・活用の推進（P57）

史跡の保存・活用については，国分寺市ならではのものであり，素晴らしい取組だと考える。季節ごとに広報紙に写真を掲載したり，散歩コースとして案内したりすると，市民がより身近な存在に感じ，郷土の誇りとなると考える。

国分寺市イメージキャラクター　ぶんじほたるホッチ

令和2年度　第2次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価

令和3年 10 月 21 日教育委員会決定

発行　国分寺市教育委員会
編集　教育部教育総務課
所在地　〒185-0034 国分寺市光町一丁目 46 番地8
電話　042-574-4040